



Title	三木家寄託資料調査報告書
Author(s)	大阪大学大学院文学研究科懐徳堂研究センター
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/24993
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

三木家寄託資料 調査報告書

国立大学法人大阪大学大学院文学研究科

 懷徳堂研究センター

前言

本報告書は、懷徳堂センターが二〇〇四年九月から二〇一〇年八月まで時限寄託として受け入れた辻川三木家所蔵資料に関する報告書である。寄託にかかわる経緯などについては「大庄屋三木家所蔵懷徳堂関連資料の寄託受け入れについて」（『懷徳堂センター報2005』、181～182頁）に報告されているが、以下にあらためて引用する。

播磨国辻川（現・兵庫県福崎町西田原辻川）の三木家は、辻川組二十一ヵ村の大庄屋を務め、一時は山崎組十九ヵ村の大庄屋も兼帯した名家である。辻川三木家の六代当主である通明（一七八二～一八四四年）は中井竹山や股野達軒らに学び、七代当主の通深（一八二四～一八五七年）は並河寒泉や林檉宇らに学んだ。三木家には現在もなお膨大な資料が伝えられているが、民具や古文書のみならず大量の漢籍や和書も残されていることは、同家の好学の気風をうかがうに足るであろう（福崎町教育委員会『三木家住宅 文献・民具目録』一九九九年などを参照）。なお、民俗学者の柳田国男が幼時に三木家へ預けられ、八代当主通済（一八四八～一九〇一年）のもと、その大量の蔵書を読みふけていたことは有名である。

通明および通深が懷徳堂に学んでいた関係から、三木家の蔵書の中には懷徳堂に関わる資料も多く含まれている。三木家所蔵の懷徳堂関係資料としては、中井竹山・桐園・並河寒泉らといった懷徳堂関係者の著書や書軸、書簡などが挙げられるが、特筆すべきは、通深が懷徳堂に遊学した際に作成した多数の鈔本であろう。通深が懷徳堂に滞在していたのは天保十二年（一八四一年）の後半、わずか半年ほどにすぎないが、桐園や寒泉はこの「神童」の帰郷に際し、幾種もの送序や跋を贈っている（すべて三木家に現存）。

財団法人懷徳堂記念会では以前より、三木家に対して懷徳堂関連資料の購入あるいは寄託について交渉を持ち、受入後の保管場所については大阪大学総合学術博物館とも折衝してきた。しかし様々な事情により長い間、これら資料にかかわる受入交渉は決着をみなかったのである。

二〇〇二年、財団法人懷徳堂記念会の嘱託研究員制度廃止にともない、財団法人懷徳堂記念会が従来保有していた調査研究機能の一部が大阪大学大学院文学研究科懷徳堂センターへ移管された。あわせて同センター室が開設され、わずかながら独自の収蔵スペースを確保できたため、貴重資料の新規受入が現実的なものとなった。

大阪大学の独立行政法人化が完了した二〇〇四年、懷徳堂センターから三木家に対して、関係資料を寄託していただきたい旨の希望をあらためて申し入れた。数次に及ぶ交渉の結果、幸いにも十代夫人三木美子氏および十一代当主三木雅雄氏のご理解を頂戴し、同年九月九日には三木雅雄氏と本研究科長との間に三年間の無償寄託契約（二〇〇七年八月まで）が締結され、資料は本センターへと搬入された。

三木家のご厚意に対して御礼を申し上げるとともに、寄託に至る経緯を記して明らか

とする次第である。

本件寄託に関しては、なるべく懷徳堂に関わる資料のみを選択して受け入れるよう努めた。ただし三木家においては独自の資料整理とグルーピングが進行中であり、原秩序を尊重する立場から、懷徳堂関係資料を含む複数の資料グループを一括して受け入れる必要が生じた。寄託資料に懷徳堂とは無関係な資料が多数含まれている所以である。

該件資料にかかわる調査は、本センターを中心とし、下記掲載の協力者の助力を得て進められた。調査に加わった研究者の専門は、日本文学・日本史学・中国哲学・美術史など多岐にわたっており、これは三木家資料の豊富さとともに、その奥深さを物語っている。個別の資料については、すでに当センターが発行する『懷徳堂センター報』などでも発表されているが、本報告書では、寄託資料の全体を概観するため作成した「三木家寄託資料目録」と「三木家寄託資料解題」を付した。目録の作成にあたっては、基本的に『三木家住宅 文献・民具目録』（兵庫県神崎郡福崎町教育委員会、一九九九年三月）に依拠し、また解題作成の際には『福崎町史（全四冊）』（福崎町史編集専門委員会編、一九九〇年七月～一九九五年三月）などを大いに参考にさせていただいた。遺憾ながら未だ十分な調査がなされていない資料も多くある。これについては、今後の整理と研究に期待したい。

なお、該件資料の寄託期間中に、三木家住宅および民具や資料などは三木家より福崎町へと移管された。ただし該件資料は福崎町への移管対象には含まれておらず、二〇一〇年八月で寄託を終了した。（上記の『センター報』にあるように、当初は二〇〇七年八月までを寄託期限としていたが、その後、さらに三年延長されている。）長い間、貴重な資料を寄託いただいた十代夫人三木美子氏、および十一代当主三木雅雄氏に改めて感謝申し上げる次第である。

（調査協力者）

- ・橋爪節也（大阪大学大学院文学研究科 美術史学 教授）
- ・合山林太郎（大阪大学大学院文学研究科 日本文学 講師）
- ・濱住真有（大阪大学大学院文学研究科 美術史学 助教）
- ・浜田泰彦（大阪大学大学院文学研究科 日本文学 特任研究員）
- ・寺澤慎吾（大阪大学大学院文学研究科 美術史学 大学院生）
- ・曾田めぐみ（大阪大学大学院文学研究科 美術史学 大学院生）
- ・大浦和也（大阪大学大学院文学研究科 日本史学 大学院生）
- ・浅田祐治（大阪大学大学院文学研究科 日本史学 大学院生）
- ・時広雅紀（大阪大学大学院文学研究科 日本史学 大学院生）
- ・竹村涉（大阪大学大学院文学研究科 中国哲学 大学院生）
- ・久保宗之（大阪大学大学院文学研究科 中国哲学 学部生）
- ・井上了（大阪大学医学部附属病院 総務課 広報評価係職員）
- ・福田一也（大阪大学大学院文学研究科 懷徳堂研究センター職員）

2010年8月末日 懷徳堂研究センター

福田一也

三木家寄託資料目録

※「資料番号」は、大阪大学にて附した番号。その後に、これに対応する前掲福崎町教育委員会『三木家住宅 文献・民具目録』の目録番号を掲載している。「箱」とは、大阪大学に搬送された際の箱番号（全15箱）。最後に、大阪大学にて付与した資料名と数量を記した。

資料番号	福崎町目録番号	箱	大阪大学で付与した資料名
001	32頁 B/h/2	12	『愚元記』(横帖1冊)
002	32頁 B/h/5	12	『伊呂波禁戒俗解』(線装1冊)
003	32頁 B/h/7	12	『雕蟲篇』(線装1冊)
004	32頁 B/h/8	12	『叶韻』(仮綴1冊)
005	32頁 B/h/9	12	『蝦夷合戦』(仮綴1冊)
006	32頁 B/h/13	12	「江戸紀行(仮題)」(横帖1冊)
007	32頁 B/h/14	12	「江戸紀行(仮題)」(横帖1冊)
008	32頁 B/h/15	12	「江戸紀行(仮題)」(線装1冊)
009	32頁 B/h/16	12	「小学仮名手本」(線装3冊)
010	32頁 B/h/17	12	『絵本勇者車』(仮綴1冊)
011	32頁 B/h/18	12	「諸事控」(仮綴1冊)
012	32頁 B/h/19	12	「後素雑費籍」(仮綴1冊)
013	32頁 B/h/20	12	「揺櫓船」(線装1冊)
014	32頁 B/h/21	12	「三十六歌仙」(仮綴1冊)
015	32頁 B/h/22	12	『臺子類寸法秘傳』(線装1冊)
016	32頁 B/h/23	12	「此君百咏草稿諸書抜抄」(仮綴1冊)
017	32頁 B/h/24	12	「八居詩」(仮綴1冊)
018	32頁 B/h/25	12	「元巳小会集」(仮綴1冊)
019	32頁 B/h/26	12	「文稿」(仮綴1冊)
020	32頁 B/h/27	12	『臺陽集』(仮綴1冊)
021	32頁 B/h/28	12	『華布囊(稿本)』(仮綴1冊)
022	32頁 B/h/29	12	『華布囊(定本)』(線装1冊)
023	32頁 B/h/30	12	「客路随筆」(横帖1冊)
024	32頁 B/h/31	12	『東征稿』(線装1冊)
025	32頁 B/h/32	12	「盞簪詩集」(線装1冊)
026	32頁 B/h/33	12	「舊稿抜抄」(仮綴1冊)
027	32頁 B/h/34	12	『赤穂義人録』(線装1冊)

028	32頁	B/h/35	12	「清華齋趙帖印文」(線装1冊)
029	32頁	B/h/36	13	「蠶桑說」(仮綴1冊)
030	32頁	B/h/37	13	「推敲篇」(仮綴1冊)
031	32頁	B/h/38	13	「辛丑元旦」(仮綴1冊)
032	33頁	B/h/39	13	「生野足立氏茶讌卒賦」(仮綴1冊)
033	33頁	B/h/40	12	「贅言」(線装1冊)
034	33頁	B/h/41	12	「風自堂塾規」(仮綴1冊)
035	33頁	B/h/42	13	「海晏寺觀楓記」(仮綴1冊)
036	33頁	B/h/43	13	「柳宮事略」(横帖1冊)
037	33頁	B/h/44	13	「撮要録」(仮綴1冊)
038	33頁	B/h/45	13	「伊勢參宮道中記」(横帖1冊)
039	33頁	B/h/46	13	「謡曲稽古録」(仮綴1冊)
040	33頁	B/h/47	12	「南総里見八大伝年表(仮題)」(線装1冊)
041	33頁	B/h/48	13	「文人雅号(仮題)」(線装1冊)
042	33頁	B/h/49	13	「江戸紀行雑録」(横帖1冊)
043	33頁	B/h/50	13	「坐右紺珠」(横帖1冊)
044	33頁	B/h/51	12	「請評文草」(仮綴1冊)
045	33頁	B/h/52	13	「畫筌」(線装1冊)
046	33頁	B/h/53	12	「壬子稿」(仮綴1冊)
047	33頁	B/h/54	12	「壬子稿・癸丑稿・甲寅稿・乙卯稿」(仮綴1冊)
048	33頁	B/h/55	12	「乙卯稿・丙辰稿」(仮綴1冊)
049	33頁	B/h/56	13	「癸丑稿」(1枚)
050	33頁	B/h/57	13	「書啓底簿」(仮綴1冊)
051	33頁	B/h/58	12	「湯武論」(仮綴1冊)
052	33頁	B/h/59	13	「正月四日自姫路帰途」(仮綴1冊)
053	33頁	B/h/60	13	「十二月某日、姫路城北鄙」(仮綴1冊)
054	33頁	B/h/61	13	「赤壁賦」(仮綴1冊)
055	33頁	B/h/62	13	「談實」(仮綴1冊)
056	33頁	B/h/63	13	「葛訪」(仮綴1冊)
057	33頁	B/h/64	13	「覆文藁」(仮綴4冊)
058	33頁	B/h/65	13	「亡却字林卷之三」(仮綴1冊)
059	33頁	B/h/66	13	「當歸乾歸」(仮綴1冊)
060	33頁	B/h/67	13	「請帖安内状」(横帖1冊)
061	33頁	B/h/68	13	「天文」(仮綴1冊)
062	33頁	B/h/69	13	「四海」(仮綴1冊)
063	33頁	B/h/70	13	「懷徳堂改正副墨例略」(仮綴1冊)
064	33頁	B/h/71	13	「詩歌うつし」(仮綴1冊)
065	33頁	B/h/72	13	「毛詩品物図功寫」(仮綴1冊)
066	33頁	B/h/73	13	「嬌如面施下望闕」(仮綴1冊)
067	33頁	B/h/74	13	「児嶋高德」(2枚)

068	33頁	B/h/75	13	「播州郡北宿村有古墳」(1枚)
069	34頁	B/h/76-1	12	「左和田範一和田範家之後」(1枚)
070	34頁	B/h/76-2	12	「左和田範一ハ」(1枚)
071	34頁	B/h/77	13	「礼記にいわく」(1枚)
072	34頁	B/h/78	13	「鶴者九轉」(1枚)
073	34頁	B/h/79	13	「仄韻之詩」(1枚)
074	34頁	B/h/80	13	「疇昔所請」(1枚)
075	34頁	B/h/81	13	「正月四日自姫路帰途上」(1枚)
076	34頁	B/h/82	13	「質問」(1枚)
077	34頁	B/h/83	13	「李適仙之載酒楽」(1枚)
078	34頁	B/h/84	13	「疑問」(2枚)
079	34頁	B/h/85	13	「庚嶺ハ何処ニテ如何ナル処ヤ」(仮綴1冊)
080	34頁	B/h/86	13	「書懷五十韻」(仮綴1冊)
081	34頁	B/h/87	13	「与津田遅菴書」(仮綴1冊)
082	34頁	B/h/88	13	「詩餘ナルモノ」(仮綴1冊)
083	34頁	B/h/89	13	「他人ノ碑ト祖父母父母等ノ碑ト」(仮綴1冊)
084	34頁	B/h/90	13	「於問ノ表題」(1枚)
085	34頁	B/h/91	13	「みつのとも」(仮綴1冊)
086	34頁	B/h/92	13	「詩稿」(仮綴1冊)
087	34頁	B/h/93	13	「七家宝」(1枚)
088	34頁	B/h/94	13	「春雨限韻」(1枚)
089	34頁	B/h/95	13	「途中吟二首」(1枚)
090	34頁	B/h/96	13	「無據又々申上候」(1枚)
091	34頁	B/h/97	13	「必推予執牛耳」(1枚)
092	34頁	B/h/98	13	「憶梅泊梅客」(1枚)
093	34頁	B/h/99	13	「我妻の兄を」(1枚)
094	34頁	B/h/100	13	「鶴鶏マナツル」(1枚)
095	34頁	B/h/101	14	「鐘銘」(仮綴1冊)
096	34頁	B/h/102	14	「易書」(仮綴1冊)
097	34頁	B/h/103	14	「備忘覚(仮題)」(横帖1冊)
098	34頁	B/h/104	14	「随筆」(横帖1冊)
099	34頁	B/h/105	14	「芬舟院宗燾摸本」(仮綴1冊)
100	34頁	B/h/106	14	「摸本類」(2束)
101	35頁	B/h/116	13	「華道関係書籍」(5冊)
102	35頁	B/h/129	13	「法帖」(1冊)
103	35頁	B/h/130	13	「伯深先生作并書」(1冊)
104	35頁	B/h/131	13	「法帖 □□□唐詩」(1冊)
105	35頁	B/h/140	14	「備忘録」・「一知録」(2冊合冊)
106	169頁	H9/丁1/1	11	『明孝賀集』(線装1冊)
107	169頁	H9/丁2/1	11	『逸史』第一冊(線装1冊)

108	169頁:H9/丁2/2	11	『逸史』第二冊(線装1冊)
109	169頁:H9/丁2/3	11	『逸史』第三冊(線装1冊)
110	169頁:H9/丁3/1	11	「種之助京坂遊行扣」(仮綴1冊)
111	169頁:H9/丁4/1	11	「繪本故事談卷之一」(線装1冊)
112	169頁:H9/丁4/2	11	「繪本故事談卷之二」(線装1冊)
113	169頁:H9/丁4/3	11	「繪本故事談卷之三」(線装1冊)
114	169頁:H9/丁4/4	11	「繪本故事談卷之五」(線装1冊)
115	170頁:H9/丁4/5	11	「繪本故事談卷之七」(線装1冊)
116	170頁:H9/丁5/1	11	「沼野刃傷実録」(線装1冊)
117	170頁:H9/丁6/1	11	「胸中大全」(仮綴1冊)
118	170頁:H9/丁6/2	11	「東征途上日記」「いろは短歌」ほか諸事の費用を記載(横帖1冊)
119	170頁:H9/丁6/3	11	「墨口小品下巻」(線装1冊)
120	170頁:H9/丁6/4	11	「都都逸を記載」(線装1冊)
121	170頁:H9/丁6/5	11	「室津野本氏子竹臺君聳入之節吟作釋解」(仮綴1冊)
122	170頁:H9/丁6/6	11	『騷碧囊』(線装1冊)
123	170頁:H9/丁6/7	11	『葭玉編』(線装1冊)
124	170頁:H9/丁7/1	11	『女大学』(仮綴1冊)
125	170頁:H9/丁8/1	11	『唐詩選講釋』三(線装1冊)
126	170頁:H9/丁8/2	11	『唐詩選講釋』四(線装1冊)
127	170頁:H9/丁8/3	11	『唐詩選講釋』五(線装1冊)
128	170頁:H9/丁9/1	11	「瀬加川より中須田地占新葺一件諸事扣」(横帖1冊)
129	170頁:H9/丁9/2	11	「[覚](明治九年・十年分東田原村差引勘定)」(2枚)
130	170頁:H9/丁9/3	11	「[覚](八年・九年・十年地租代書上)」(1枚)
131	170頁:H9/丁9/4	11	「[覚](地租代書上)」(1枚)
132	170頁:H9/丁9/5	11	「[書付](小畑村旱損拝借金償還記録)」(1枚)
133	170頁:H9/丁9/6	11	「[覚](新開地一反一畝一七歩につき)」(1枚)
134	170頁:H9/丁9/7	11	「記」(1枚)
135	170頁:H9/丁9/8	11	「記」(1枚)
136	170頁:H9/丁9/9	11	「記」(1枚)
137	170頁:H9/丁9/10(A)	11	「[金額書上)」(1枚)
138	170頁:H9/丁9/10(B)	11	「種初請取通」(1枚)
139	170頁:H9/丁9/11	11	「蓄積米通」(1枚)
140	170頁:H9/丁9/12	11	「記」(1枚)
141	170頁:H9/丁9/13	11	「西田原村耕地」(2枚)
142	170頁:H9/丁9/14	11	「記」(1枚)
143	170頁:H9/丁9/15	11	「[覚]人別年貢米書上げ」(1枚)
144	171頁:H9/戊1/1	10	「賀状」(1枚)
145	171頁:H9/戊1/2	10	「画具などに関する書状」(1枚)
146	171頁:H9/戊1/3	10	「病により金子都合してほしいとの旨」(1枚)
147	171頁:H9/戊1/4	10	「中元の品者に対する礼状」(1枚)

148	171頁	H9/戊1/5	10	「賀儀一般拝収の礼及び絵画等について」(1枚)
149	171頁	H9/戊1/6	10	「年頭のあいさつ並びに金一封への礼状」(1枚)
150	171頁	H9/戊1/7	10	「山水画等に関する書状」(1枚)
151	171頁	H9/戊2/1	10	「和歌四首書上」(1枚)
152	171頁	H9/戊2/2	10	「作歌についての書上」(2枚)
153	171頁	H9/戊2/3	10	「漢詩文」(1枚)
154	171頁	H9/戊2/4	10	「年頭作成の和歌」(1枚)
155	171頁	H9/戊2/5	10	「和歌書上」(1枚)
156	171頁	H9/戊2/6	10	「某品物代金掛合の事についての書状」(1枚)
157	171頁	H9/戊2/7	10	「訪問一届けていただきたい旨書状」(1枚)
158	171頁	H9/戊2/8	10	「古歌等の字義消息等の書上」(1枚)
159	171頁	H9/戊2/9	10	「心持ちのあり方を書きつづった書状」(1枚)
160	171頁	H9/戊2/10	10	「廣頼門人、竹田翁門人名書上」(1枚)
161	171頁	H9/戊2/11	10	「三木通深宛浦上春琴書簡」(1枚)
162	171頁	H9/戊2/12	10	「和歌三首書上」(1枚)
163	171頁	H9/戊2/13	10	「断簡」(1枚)
164	171頁	H9/戊3/1	9	「書画帖御催ニ付」(1枚)
165	171頁	H9/戊3/2	9	「写真之賛及び書画帖認上」(1枚)
166	171頁	H9/戊3/3	9	「草稿について、聚訟の恐れ有之候事」(1枚)
167	171頁	H9/戊3/4	9	「任鴻便について御尋」(1枚)
168	171頁	H9/戊3/5	9	「詩画差し上げ候こと頼遣わし一幅送りの事」(1枚)
169	171頁	H9/戊3/6	9	「口上りき女法号について」(1枚)
170	171頁	H9/戊3/7	9	「御染筆物御差出され候御礼」(1枚)
171	171頁	H9/戊3/8	9	「文房珍翫一品新収のこと」(1枚)
172	171頁	H9/戊3/9	9	「御手教之趣御答書」(1枚)
173	171頁	H9/戊3/10	9	「中井七郎画巻差上について」(1枚)
174	171頁	H9/戊3/11	9	「老母様御悔見舞いについて」(1枚)
175	171頁	H9/戊3/12	9	「書画帖御催成之趣」(1枚)
176	171頁	H9/戊3/13	9	「道中報告御知らせ状」(1枚)
177	171頁	H9/戊3/14	9	「〔書状〕筑州侯御通行之節無心申一条内證御取計につき」(1枚)
178	172頁	H9/戊3/15	9	「〔書状〕基石の代銀支払いにつき」(1枚)
179	172頁	H9/戊3/16	9	「年賀ニ付贈答御礼状」(1枚)
180	172頁	H9/戊3/17	9	「〔書状〕桜氏面会のほか客屋事などにつき御同慶の旨」(1枚)
181	172頁	H9/戊3/18	9	「毎々御懇情の礼」(1枚)
182	172頁	H9/戊3/19	9	「〔書状〕書画上達につき」(1枚)
183	172頁	H9/戊3/20	9	「〔書状〕年賀及び書状の答書延引について」(1枚)
184	172頁	H9/戊3/21	9	「〔書状〕寒中見舞及び近況報告」(1枚)
185	172頁	H9/戊3/22	9	「〔書状〕恵投被下につき礼状」(1枚)
186	172頁	H9/戊3/23	9	「〔書状〕落田屋権九郎に金子差出につき」(1枚)
187	172頁	H9/戊3/24	9	「〔書状〕欠違面会難計につき御転書被下様願ひ」(1枚)

188	172頁	H9/戊3/25	9	「[書状] 御草稿落収につき」(1枚)
189	172頁	H9/戊3/26	9	「[書状] 懷徳書院へ罷在事断無之事など」(1枚)
190	172頁	H9/戊4/1	3	「三木通庸賀歌詠草」(仮綴1冊)
191	172頁	H9/戊4/2	3	「和歌三首詠草」(1枚)
192	172頁	H9/戊4/3	3	「和歌五首詠草」(1枚)
193	172頁	H9/戊4/4-1	3	「三木通庸新春和歌詠草」(1枚)
194	172頁	H9/戊4/4-2	3	「三木通庸新春和歌詠草」(1枚)
195	172頁	H9/戊4/4-3	3	「三木通庸竹題和歌五首詠草」(1枚)
196	172頁	H9/戊4/4-4	3	「三木通庸春歌詠草」(1枚)
197	172頁	H9/戊4/4-5	3	「三木通庸梅花久薫題和歌五首草稿」(1枚)
198	172頁	H9/戊4/4-6	3	「三木通庸和歌八首詠草」(1枚)
199	172頁	H9/戊4/4-7	3	「夏歌九首詠草」(1枚)
200	172頁	H9/戊4/4-8	3	「三木通庸月題和歌詠草」(仮綴1冊)
201	172頁	H9/戊4/4-9	3	「和歌九首詠草」(1枚)
202	172頁	H9/戊4/4-10	3	「和歌三首詠草」(1枚)
203	172頁	H9/戊4/4-11	3	「三木通庸梅久薫題和歌五首詠草」・「三木通庸和歌四首詠草」(1枚)
204	172頁	H9/戊4/4-12	3	「三木通庸初春和歌五首草稿」(2枚)
205	172頁	H9/戊5/1	4	「三木通深宛中井桐園書簡(十二月二十二日)」(1枚)
206	172頁	H9/戊5/2	4	「三木通深宛中井桐園書簡(正月九日)」(1枚)
207	172頁	H9/戊5/3	4	「三木通深宛中井桐園書簡(五月十五日)」(1枚)
208	172頁	H9/戊5/4	4	「中井桐園書簡(三木通深宛)」(1枚)
209	172頁	H9/戊6/1	4	「日清戦争の「御垂事」」(1枚)
210	172頁	H9/戊6/2	4	「[凶作二付] 見分願い」(1枚)
211	173頁	H9/戊7/1	8	「書簡」(2枚1組)
212	173頁	H9/戊7/2	8	「書簡断簡」(1枚)
213	173頁	H9/戊7/3	8	「記 油屋入高の件につき書状」(1枚)
214	173頁	H9/戊7/4	8	「覚 所持田畑高書上」(1枚)
215	173頁	H9/戊7/5	8	「口上 金子の義に付相談申度候書状」(1枚)
216	173頁	H9/戊7/6	5	「口上 詰算渡銀子不足に付口上」(1枚)
217	173頁	H9/戊7/7	5	「書状」(1枚)
218	173頁	H9/戊7/8	8	「大塩平八郎井その一統の者の件に付触達」(1枚)
219	173頁	H9/戊7/9	5	「書状」(1枚)
220	173頁	H9/戊7/10	8	「近況報告」(1枚)
221	173頁	H9/戊7/11	5	「書状」(1枚)
222	173頁	H9/戊7/12	8	「書状の到着月日等諸事書付」(2枚1組)
223	173頁	H9/戊7/13	8	「書状」(1枚)
224	173頁	H9/戊7/14	8	「滞在中の御馳走に対する御礼」(1枚)
225	173頁	H9/戊7/15	5	「吉田村小百姓から辻川大庄屋宛の包紙」(1枚)
226	173頁	H9/戊7/16	8	「書状」(1枚)
227	173頁	H9/戊7/17	5	「左蔵ほか諸人についての近況報告」(1枚)

228	173頁	H9/戊7/18-1	5	「礼状」(1枚)
229	173頁	H9/戊7/18-2	5	「年始の御祝」(1枚)
230	173頁	H9/戊7/19	8	「書状」(1枚)
231	173頁	H9/戊7/20	8	「改暦吉兆ニ際しお祝いの挨拶」(1枚)
232	173頁	H9/戊7/21	8	「書状」(1枚)
233	173頁	H9/戊7/22	8	「出世様に対する意見」(1枚)
234	173頁	H9/戊7/23	8	「礼状」(2枚1組)
235	173頁	H9/戊7/24	8	「報告」(1枚)
236	173頁	H9/戊7/25	8	「今年帰国する際会って話したい」(1枚)
237	173頁	H9/戊7/26	8	「書簡断簡」(1枚)
238	173頁	H9/戊7/27	8	「送別に対する追記」(1枚)
239	173頁	H9/戊7/28	8	「書状」(1枚)
240	173頁	H9/戊7/29	8	「書状」(1枚)
241	173頁	H9/戊7/30	5	「書状」(1枚)
242	173頁	H9/戊7/31	5	「書状」(1枚)
243	173頁	H9/戊7/32	8	「催促状」(1枚)
244	173頁	H9/戊7/33	8	「書簡」(1枚)
245	173頁	H9/戊7/34	5	「覚 代金受取の覚」(1枚)
246	173頁	H9/戊7/35	5	「覚 代金受取に付覚」(1枚)
247	174頁	H9/戊7/36-1	5	「御礼及び近況報告」(1枚)
248	174頁	H9/戊7/36-2	5	「書状」(1枚)
249	174頁	H9/戊7/36-3	5	「書状」(1枚)
250	174頁	H9/戊7/36-4	5	「書状」(1枚)
251	174頁	H9/戊7/36-5	5	「書状」(1枚)
252	174頁	H9/戊7/37	5	「近況報告」(1枚)
253	174頁	H9/戊7/38-1	5	「書状」(1枚)
254	174頁	H9/戊7/38-2	5	「書状」(1枚)
255	174頁	H9/戊7/39	5	「書状」(1枚)
256	174頁	H9/戊7/40	5	「連絡並に通知」(1枚)
257	174頁	H9/戊7/41	5	「書状」(1枚)
258	174頁	H9/戊7/42	5	「書状」(1枚)
259	174頁	H9/戊7/43-1	5	「書状」(1枚)
260	174頁	H9/戊7/43-2	5	「書状」(1枚)
261	174頁	H9/戊7/43-3	5	「画者に対する代料についての相談」(1枚)
262	174頁	H9/戊7/43-4	5	「書状」(1枚)
263	174頁	H9/戊7/43-5	5	「書状」(1枚)
264	174頁	H9/戊7/44	5	「口上書 礼状」(1枚)
265	174頁	H9/戊7/45	5	「覚 石碑代等の金銭領収及び両替についての覚」(1枚)
266	174頁	H9/戊7/46-1	5	「書状」(1枚)
267	174頁	H9/戊7/46-2	5	「書状」(1枚)

268	174頁	H9/戊7/46-3	5	「書状」(1枚)
269	174頁	H9/戊7/46-4	5	「未詳?」(1枚)
270	174頁	H9/戊7/46-5	5	「開披不能により内容不明」(1枚)
271	174頁	H9/戊7/46-6	5	「書状」(1枚)
272	174頁	H9/戊8/1-1	6	「畑林譲渡証文之事」(書状1枚、絵図1枚)
273	174頁	H9/戊8/1-2	6	「井之口裏に八幡講の講替の絵図を堀米氏に貸す」(1枚)
274	174頁	H9/戊8/2	6	「林復斎七言詩」(1枚)
275	174頁	H9/戊8/3	6	「林樸宇七言詩」(1枚)
276	174頁	H9/戊8/4	6	「和歌集」(1枚)
277	174頁	H9/戊9/1	6	「船舳争いについての「歎書」」(1枚)
278	174頁	H9/戊10/1	7	「御礼受取依頼」(1枚)
279	175頁	H9/戊10/2	7	「書簡断簡」(1枚)
280	175頁	H9/戊10/3	7	「書状」(1枚)
281	175頁	H9/戊10/4	7	「書状」(1枚)
282	175頁	H9/戊10/5	7	「書簡断簡」(1枚)
283	175頁	H9/戊10/6	7	「書簡断簡」(1枚)
284	175頁	H9/戊10/7	7	「書状」(1枚)
285	175頁	H9/戊10/8	7	「未詳?」(1枚)
286	175頁	H9/戊10/9	7	「書状」(1枚)
287	175頁	H9/戊10/10	7	「未詳?」(1枚)
288	175頁	H9/戊10/11	7	「書状」(1枚)
289	175頁	H9/戊10/12	7	「書状」(1枚)
290	175頁	H9/戊10/13	7	「書状」(1枚)
291	175頁	H9/戊10/14	7	「書状」(1枚)
292	175頁	H9/戊10/15	7	「未詳?」(1枚)
293	175頁	H9/戊10/16	7	「書状」(1枚)
294	175頁	H9/戊10/17	7	「別紙について」(1枚)
295	175頁	H9/戊10/18	7	「書状」(1枚)
296	175頁	H9/戊10/19	7	「書状」(1枚)
297	175頁	H9/戊10/20	7	「書状」(1枚)
298	175頁	H9/戊10/21	7	「舌」(1枚)
299	175頁	H9/戊10/22	7	「新年のあいさつ状」(1枚)
300	175頁	H9/戊10/23	7	「病氣見舞の礼状」(1枚)
301	175頁	H9/戊10/24	6	「書状」(1枚)
302	175頁	H9/戊10/25	6	「返報」(1枚)
303	175頁	H9/戊10/26	6	「自作和歌の評価について」(2枚)
304	175頁	H9/戊10/27	6	「通深作の和歌六首書上」(1枚)
305	175頁	H9/戊10/28	6	「通深作の漢詩及び和歌書上」(1枚)
306	175頁	H9/戊10/29	6	「男尚之恐惶口首口首謹奉表」(1枚)
307	175頁	H9/戊10/30	7	「書状断簡」(1枚)

308	175頁;H9/戊10/31	7	「和歌三〇首書上」(1枚)
309	175頁;H9/戊11/1	6	「小倉百人一首写」(1枚)
310	182頁;H9/D1/L-1	2	「三木通明宛中井蕉園書簡(十二月朔日)」(1枚)
311	182頁;H9/D1/L-2	2	「三木通明宛中井蕉園書簡(二月三日)」(1枚)
312	182頁;H9/D1/L-3	2	「三木通明宛中井蕉園書簡(十二月十七日)」(1枚)
313	182頁;H9/D1/L-4	2	「三木通明宛田中純二・中井碩果・中井蕉園書簡(十二月十五日)」(1枚)
314	182頁;H9/D1/L-5	2	「三木通明宛中井蕉園書簡(四月六日)」(1枚)
315	182頁;H9/D1/L-6	2	「三木通明宛中井蕉園書簡(二月廿七日)」(2枚)
316	182頁;H9/D1/L-7	2	「三木通庸宛中井竹山書簡(三月十四日)」(1枚)
317	182頁;H9/D1/L-8	2	「三木通庸宛中井竹山書簡(二月三日)」(1枚)
318	182頁;H9/D1/L-9	2	「三木通庸宛中井竹山書簡(正月廿八日)」(1枚)
319	182頁;H9/D1/L-10-1	2	「三木通明宛俣野嘉善・才助書簡」(1枚)
320	182頁;H9/D1/L-10-2	2	「三木通明宛俣野嘉善書簡(二月十日)」(1枚)
321	182頁;H9/D1/L-10-3	2	「三木通庸宛俣野嘉善書簡(二月十五日)」(1枚)
322	183頁;H9/D1/L-10-4	2	「三木通明宛俣野嘉善書簡(二月十五日)」(1枚)
323	183頁;H9/D1/L-11	2	「三木通明宛原文四郎書簡(四月廿五日)」(1枚)
324	183頁;H9/D1/L-12	2	「三木通明宛原文四郎書簡(臘廿八日〈十二月二十八日〉)」(1枚)
325	183頁;H9/D1/L-13	2	「三木通明宛原文四郎書簡(七月十日)」(1枚)
326	183頁;H9/D1/L-14	2	「三木通明中井蕉園書簡(十一月十日)」(1枚)
327	183頁;H9/D1/L-15	2	「三木通明宛俣野嘉善書簡(正月晦日)」(1枚)
328	183頁;H9/D1/L-16	2	「三木通明宛原文四郎書簡(臘念六〈十二月二十六日〉)」(1枚)
329	183頁;H9/D1/L-17	2	「三木通明宛原文四郎書簡(十月十八日)」(1枚)
330	183頁;H9/D1/L-18	2	「三木甚右衛門宛大井頼極書簡(十月廿日)」(1枚)
331	183頁;H9/D1/L-19	2	「三木通明宛原文四郎書簡(九月晦〈九月晦日〉)」(1枚)
332	183頁;H9/D1/L-20	2	「三木甚右衛門宛山邊内記書簡(二月十三日)」(1枚)
333	183頁;H9/D1/L-21	2	「小島習庵宛網齊書簡(正月晦日)」(1枚)
334	183頁;H9/D1/L-22	2	「漢詩(三木通深孚、仲冬念二)」(1枚)
335	183頁;H9/D1/L-23	2	「漢詩」(1枚)
336	183頁;H9/D1/L-24	2	「人事偶成」(1枚)
337	183頁;H9/D1/L-25	2	「包紙のみ(書簡なし)」(1枚)
338	不明;仮番号P1	15	「古賀侗庵書」(1幅)・「中井竹山書」(1幅)・「諸家書画卷」(卷子1巻17枚)
339	不明;仮番号P2	15	「中井竹山書『穀雨』」(7帖)
340	不明;仮番号P3	15	「中井竹山八橋故址詩軸」(1幅)
341	不明;仮番号P4	15	「中井仙坡五言詩軸」(1幅)
342	不明;仮番号P5	1	「中林竹洞筆 春秋山水図」(掛幅2幅)
343	不明;仮番号P6	1	「中林竹洞筆 萬山艸堂圖(書幅)」(掛幅1幅)
344	不明;仮番号P7	1	「島琴陵筆 鶴図」(掛幅3幅対)
345	不明;仮番号P8	1	「(作者不詳) 神農・陶弘景・董奉図(林鸞峰賛)」(幅3幅対)
346	不明;仮番号P9	1	「田能村竹田筆 草虫図(篠崎小竹賛)」(掛幅1幅)
347	不明;仮番号P10	1	「岡田米山人筆 君子一笑図」(掛幅1幅)

348	不明;仮番号P11	1	「田能村竹田筆 疎林平遠図 (篠崎小竹賛)」(掛幅1幅)
349	不明;仮番号P12	1	「橋本閑雪筆 峽中所見図」(掛幅1幅)
350	不明;仮番号P13	15	「神崎十勝書画卷」(卷子1巻)
351	不明;仮番号P14	1	「(作者不詳) 能の図 (蘆刈)」(掛幅1幅)
352	不明;仮番号P15	15	「三木通深筆 山水図」(掛幅1幅)
353	不明;仮番号P16	15	「三木通深筆 山水図」(掛幅1幅)
354	不明;仮番号P17	15	「諸家書画帖 (17枚)」(1冊17枚)
355	不明;仮番号P18	15	「書画帖 (32枚)」(1冊32枚)
356	不明;仮番号P19	15	「谷口諤山筆 画帖 (12図)」(1冊12図)
357	不明;仮番号P20	15	「画帖 (5図)」(1冊5図)
358	183頁;H9/D2-1/7	15	「三木通深筆 山水図 (模伊孚九)」(まくり3枚)
359	不明;追加分	14	「中井蕉園「咏池田炭」(1枚)
360	不明;追加分	14	「中井及泉書「子有を送る」(仮題)」(1枚)
361	不明;追加分	14	「中井曾弘「魚賦」(1枚)
362	不明;追加分	14	「並河寒泉七言詩「韓崎」(1枚)
363	不明;追加分	14	「中井先生拙稿」(線装1冊)
364	不明;緑封筒	14	「辻川 三木慎三郎越智通深識并書」(1枚)
365	不明;緑封筒	14	「新聞 (昭和62年8月19日) のコピー」(1枚)
366	不明;緑封筒	14	「草稿「お葬式」(仮題)」(1枚)
367	不明;緑封筒	14	「床荘傳書」(仮綴1冊)
368	不明;不明書籍	14	『淡播農商工便覧』(横帖1冊)
369	不明;不明書籍	14	『布令必用新撰字引』(横帖1冊)
370	不明;不明書籍	14	「薄茶手前略記」(仮綴1冊)
371	不明;不明資料	11	「[覚)」(1枚)

三木家資料解題

資料番号：001

資料名：『愚元記』

福崎目録：32頁 B/h/2「愚元記」

書誌情報：横帖1冊 外形寸法：縦15.7×横23.3cm

明暦二、弥生中旬善政とある。末尾には、三木家の前身である河野氏から、辻川三木家に至るまでの当主の系譜が記される。

資料番号：002

資料名：『伊呂波禁戒俗解』

福崎目録：32頁 B/h/5「写本、伊呂波禁戒俗解」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦24.2×横17.2cm

外題には、「写本 伊呂波禁戒俗解 全」とある。「伊呂波禁戒序」・「伊呂波禁戒」（久松筑後守）・「伊呂波禁戒俗解」（平野庸脩）の三部分からなる。通深、九歳の時の写本。

資料番号：003

資料名：『雕蟲篇』

福崎目録：32頁 B/h/7「一宵十賦」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦24.0×横15.3cm

中井蕉園『雕蟲篇』の抄本。外題には「一宵十賦」と記される。懷徳堂文庫所蔵の『雕蟲篇』（全二冊）は、「雕蟲篇上」に「一宵十賦」、「雕蟲篇下」に「後一宵十賦」を収めるが、これは「雕蟲篇上」に相当。三木崑山の序文などを備えており、刊本から抄写されたものと思われる。なお龍野文庫（兵庫県龍野市立歴史民俗資料館）に、三木通深が弘化三年に鈔した『彫虫篇』が架蔵されている。

資料番号：004

資料名：『叶韻』

福崎目録：32頁 B/h/8「叶韻」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦16.1×横12.0cm

前半部に音韻関係の記載、後半部に伊藤幸佐著「常服便覧」（服装、及び装身具に関する説明）を載せる。末尾に「文化三年」とある。

資料番号：005

資料名：『蝦夷合戦』

福崎目録：32頁 B/h/9「蝦夷合戦」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.0×横17.0cm

「蝦夷騒動」・「合戦の次第」などが記される。末尾に「三木通明」とあり、通明の抄本と思われる。文化四年。

資料番号：006

資料名：「江戸紀行（仮題）」

福崎目録：32頁 B/h/13「江戸紀行（仮題）」

書誌情報：横帖1冊 外形寸法：縦13.5×横19.6cm

外題・内題ともになし。冒頭に七言詩あり。文政五年。

資料番号：007

資料名：「江戸紀行（仮題）」

福崎目録：32頁 B/h/14「江戸紀行（仮題）」

書誌情報：横帖1冊 外形寸法：縦9.5×横18.0cm

「箱根」・「江戸」などの地名が散見される。文政五年。

資料番号：008

資料名：「江戸紀行（仮題）」

福崎目録：32頁 B/h/15「江戸紀行（仮題）」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦17.9×横12.5cm

通明の抄本と思われる。文政五年。

資料番号：009

資料名：「小学仮名手本」

福崎目録：32頁 B/h/16「小学仮名手本」

書誌情報：線装3冊 外形寸法：（第一冊）縦15.7×横10.9cm

外形寸法：（第二冊）縦16.9×横12.7cm

外形寸法：（第三冊）縦17.5×横12.9cm

第一冊表紙に「一」、第二冊表紙に「二」・「三」、第三冊表紙に「四」とある。

資料番号：010

資料名：『絵本勇者車』

福崎目録：32頁 B/h/17「古今、絵本勇者車」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦21.6×横16.5cm

下河辺拾水『絵本勇者車』の写本。「三木種之助」（通深）書写。文政十二年。

資料番号：011

資料名：「諸事控」

福崎目録：32頁 B/h/18「諸事控」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦23.3×横16.0cm

文化八年から文政三年までの、諸事の覚え書き。碑文など、雑多な内容が記される。

資料番号：012

資料名：「後素雑費籍」

福崎目録：32頁 B/h/19「後素雑費籍」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦25.0×横17.3cm

画を習う際の師に対する謝礼などについて記される。天保二年。

資料番号：013

資料名：「揺櫓船」

福崎目録：32頁 B/h/20「揺櫓船」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦22.5×横16.0cm

三木種之助（通深）九歳の写本。伝説上の人物や歴史上の人物、及び妖怪などの絵が記されている。多くは『揺櫓船』などの絵を模写したものと思われる。天保三年。

資料番号：014

資料名：「三十六歌仙」

福崎目録：32頁 B/h/21「三十六歌仙」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦23.4×横16.5cm

三木通深の抄本で、三十六歌仙の和歌が記される。天保三年。

資料番号：015

資料名：『臺子類寸法秘傳』

福崎目録：32頁 B/h/22「台子類才法秘伝」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦27.2×横19.5cm

外題「臺子類寸法秘傳」。内題なし。茶道具の台子などの寸法を詳細に記す。末尾に「天保六年」とあり、三木尚之の十二歳時の書写。ただし、文中には「寛保二壬戌中秋寫之 川上霜雪」や「寛政八年丙辰三月寫 木齋主定香」という表記も見える。

資料番号：016

資料名：「此君百咏草稿諸書抜抄」

福崎目録：32頁 B/h/23「此君百咏草稿諸書抜抄」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦23.8×横16.5cm

「苦竹」・「甘竹」・「漢竹」など、竹の種類や竹に関連する語句を列挙し、解説を加えている。また書中に、「雨竹」・「風竹」「新竹」・「露竹」などと題する漢詩七種を記した1紙（二つ折り）が挟まっている。天保七年。

資料番号：017

資料名：「八居詩」

福崎目録：32頁 B/h/24「八居詩」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦20.5×横13.8cm

外題「八居詩」。「倣魏惟度八居之詩」とあり、清人の魏惟度に倣うかたちで、以下、「山居」・「水居」・「巖居」・「船居」・「樓居」・「村居」・「廬居」・「茅居」と題する八詩が記される。天保七年。三木尚之、十三歳時の書写。

資料番号：018

資料名：「元巳小会集」（三木通深筆）

福崎目録：32頁 B/h/25「元巳小会集」

書誌情報：仮綴1冊（表紙共17丁）外形寸法：縦16.3cm×横12.0cm

三木尚之（子有）・三木民行（経義）・松岡敬（義郷）・天塩敬義（忠徳）らの漢詩計19首および松岡勇（義輔）・松岡恕（忠郷）の評を、尚之（通深）が浄書したもの。末尾に「天保八年丁酉桐月穀旦三木尚之戲著」とある。「梅洲」「松園」「竹外」「秋江」「枳山」等へ宛てた尚之の書簡の写しを付す。

資料番号：019

資料名：「文稿」

福崎目録：32頁 B/h/26「文稿」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.2×横17.0cm

冒頭に「北播 笠峰三木尚之子有甫著」とあり、三木尚之から大鹽松園、松岡義卿、耕煙ら

に宛てた書。「與大鹽松園」・「與松岡義卿大鹽仲徳書」・「與耕桐書」・「與耕煙書」を載せる。
以上の内容の一部は、資料番号020『簠陽集』に収められている。

資料番号：020

資料名：『簠陽集』

福崎目録：32頁 B/h/27「台陽集」

書誌情報：仮綴1冊（全8丁） 外形寸法：縦28.3×横20.8cm

三木通深の自筆文集。版心に「簠陽集」と刷り込まれた観生堂用箋を用いる。通深の自筆本と考えられる。内容は、「与再従兄正卿書」「与松岡義卿書」（以上の二点は天保七年、通深十三歳）「三月三日与松岡義卿大塩仲徳書」「与正卿義卿仲徳書（七月七日）」「与上杉得中書」「窃祭高須君尊大夫文」「与正卿（三月三日）」「与梅洲松園（三月四日）」「与正卿（同前）」（以上の七点は天保八年、通深十四歳）の九点。尺牘がほとんどを占めており、三木家の交友関係を示す資料である。なお正卿は三木誠（次郎）、義卿は松岡敬（弥之助、竹外、梅洲）、仲徳は大塩敬義（哲平）、得中は上杉枢（墨水）という。上杉枢は幕末の南画家として有名な上杉墨水と同一人物であろう。

資料番号：021

資料名：『華布囊（稿本）』

福崎目録：32頁 B/h/28「華布囊序」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦23.8×横16.8cm

『華布囊』の草稿本。『華布囊』については『華布囊（定本）』（B/h/29、次項）を参照。本資料を「定本」と比較すると、細部の表現などが丁寧に推敲された跡がわかる。また定本では省略されている細々した買い物などの記録も存しており、定本とは異なる価値を持つ資料である。

資料番号：022

資料名：『華布囊（定本）』

福崎目録：32頁 B/h/29「華布囊完」

書誌情報：線装1冊（全46丁） 外形寸法：縦26.5×横18.5cm

三木通深の紀行文・詩集。中井蕉園の『騶碧囊』に倣って作ったものという。天保九年三月から閏四月にかけて通明・通深父子が大坂・京都・奈良を歴訪した際の記録で、通深が道中などで作成した多くの漢詩を載せる。通深は当時十五歳であり、その詩才の早熟を具体的に窺わせる資料であるとともに、懷徳堂を訪れた際に三木通明と中井碩果との間に交わされた問答や、通深が中井桐園とともに並河寒泉を訪ねたことなども載せる貴重な記録である。

資料番号：023

資料名：「客路随筆」

福崎目録：32頁 B/h/30「客路随筆」

書誌情報：横帖1冊 外形寸法：縦8.0×横17.8cm

三木通深（十五歳時）の紀行文。『華布囊（稿本）』（資料番号021）や『華布囊（定本）』（資料番号022）の元になった記録と思われる。「自序」の末尾に「天保九年戊戌三月 生年十有五」とある。天保九年三月二十日から、四月を経て、閏四月三日までの記録であり、「尼崎」・「梅田」・「信貴山」・「吉野」などの地名が散見される。また、中井碩果に拝謁したとの記事もみえる。

資料番号：024

資料名：『東征稿』

福崎目録：32頁 B/h/31「竹山居士東征稿」

書誌情報：線装1冊（全43丁） 外形寸法：縦26.5×横18.5cm

中井竹山著『東征稿』の三木通深鈔本。巻末に「天保十年己亥孟夏北播三木尚之写」の識語があり、天保十年四月に通深が鈔した本とわかる。「懷徳堂図書記」などの印記や細井徳民の評語をも朱筆にて写しており、懷徳堂蔵の原本から鈔したものと思われる。なお中井碩果書簡（H9/戊3/10）に『東征稿』に関する記事が見える。また丁間挟込された紙片に「諸先生諱日」として竹山・履軒・蕉園・碩果の没年が記されているが、その由来は未詳。

資料番号：025

資料名：「壺簪詩集」

福崎目録：32頁 B/h/32「壺簪詩集」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦27.1×横19.3cm

三木通庸の漢詩を中心に、神谷惟幾、中川奮庸、森氏武らの漢詩を収録。書名の「壺簪」は、「簪壺」に同じで、友人が集まる意と思われる。天保十年、三木通深の編集。

資料番号：026

資料名：「舊稿拔抄」

福崎目録：32頁 B/h/33「舊稿拔抄」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.6×横16.8cm

三木尚之の漢詩集。全14首を収める。天保十年。

資料番号：027

資料名：『赤穂義人録』

福崎目録：32頁 B/h/34「赤穂義人録」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦26.7×横18.5cm

室鳩巢『赤穂義人録』の写本。末尾に「天保十年歳次己亥 播辻川三木氏蔵」とある。

資料番号：028

資料名：「清華齋趙帖印文」

福崎目録：32頁 B/h/35「清華齋趙帖印文」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦23.8×横16.8cm

第一帖から第十二帖までの十二に区分けして印文を記す。三木尚之。天保十年。

資料番号：029

資料名：「蠶桑説」

福崎目録：32頁 B/h/36「蠶桑説」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.2×横16.5cm

養蚕の必要性を論じた書。天保十二年、三木尚之撰。農業と養蚕が国政の大本であるとし、とりわけ養蚕業に着目して、その歴史的経緯や振興の必要性を説く。

資料番号：030

資料名：「推敲篇」

福崎目録：32頁 B/h/37「推敲篇」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.3×横17.8cm

漢詩集。三木尚之、並河寒泉、中井桐園などの漢詩を載せる。4葉1冊。天保十二年。

資料番号：031

資料名：「辛丑元旦」

福崎目録：32頁 B/h/38「辛丑元旦」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.3×横17.1cm

三木尚之の漢詩集。「辛丑元旦」、「書懷」、「挿桜」などと題する漢詩や賦を収録。一部に朱書きで推敲のあとがみえる。

資料番号：032

資料名：「生野足立氏茶藨卒賦」

福崎目録：33頁 B/h/39「生野足立氏茶藨卒賦」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.4×横17.2cm

漢詩集。「生野足立氏茶藨卒賦」と題する賦のほか、資料番号031に含まれる「辛丑元旦」、「書懷」などの詩も収録されている。

資料番号：033

資料名：「贅言」

福崎目録：33頁 B/h/40「贅言」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦23.3×横17.2cm

韓愈「論仏骨表」を批判する者に対し、韓愈を擁護する立場で再批判を展開する。儒者の立場から仏教を批判するものとして興味深い。

資料番号：034

資料名：「風自堂塾規」

福崎目録：33頁 B/h/41「塾規三條」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.2×横17.2cm

修行中における飲酒の禁止や門限についてなどの塾規。冒頭に「塾規三條」とあり、末尾に「風自堂塾規」とある。五葉一冊。天保十四年。

資料番号：035

資料名：「海晏寺観楓記」

福崎目録：33頁 B/h/42「海晏寺観楓記」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦23.9×横16.1cm

全2葉。前1葉は、「海晏寺観楓記」と題し、品川の海晏寺で楓を観賞したときのことが漢文で記される。後1葉は、「紀伊達政宗見豊公事」と題し、主に伊達政宗の事蹟を漢文で綴っている。

資料番号：036

資料名：『柳営事略』

福崎目録：33頁 B/h/43「柳営事略」

書誌情報：横帖1冊 外形寸法：縦7.7×横18.8cm

『柳営事略』の写本。幕府の年中行事などが記される。桜井氏所蔵の該書を三木通深が借用し、書写したもの。天保十五年。

資料番号：037

資料名：「撮要録」

福崎目録：33頁 B/h/44「撮要録」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦25.0×横17.3cm

三木尚之の書写。五井純禎（蘭洲）「狐妖論」・中井曾縮（碩果）「櫻字辨」・静軒居士『江戸

繁昌記』・中井竹山「懷徳堂記」からの抜粋や、漢音と呉音を対照した字音表、平仮名・片仮名・漢字の対照表など、雑多な内容をもつ。

資料番号：038

資料名：「伊勢参宮道中記」

福崎目録：33頁 B/h/45「伊勢参宮道中記」

書誌情報：横帖1冊 外形寸法：縦10.3×横15.4cm

伊勢神宮へ参拝した折の道中の記録。経由した地名、参拝した寺社名などが詳細に記録されている。

資料番号：039

資料名：「謡曲稽古録」

福崎目録：33頁 B/h/46 「謡曲稽古録」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦17.3cm×横12.3cm

謡曲の曲名（90曲）を列記する。三木尚之。

資料番号：040

資料名：「南総里見八犬伝年表（仮題）」

福崎目録：33頁 B/h/47 「南総里見八犬伝年表」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦17.6×横12.5cm

「文明二年 夏五月」のように年月を記した後、『南総里見八犬伝』中の主要な出来事について述べる。外題、内題ともになし。表紙を除き48丁。

資料番号：041

資料名：「文人雅号（仮題）」

福崎目録：33頁 B/h/48「文人雅号（仮題）」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦17.8×横12.4cm

文人の雅号を列記。「頼三木三郎」などの記載あり。

資料番号：042

資料名：「江戸紀行雑録」

福崎目録：33頁 B/h/49「江戸紀行雑録」

書誌情報：横帖1冊 外形寸法：縦8.3×横18.2cm

正月十二日に明石を出発、二十九日に江戸着とある。

資料番号：043

資料名：「坐右紺珠」

福崎目録：33頁 B/h/50「座右紺珠」

書誌情報：横帖1冊 外形寸法：縦5.0×横13.9cm

紙面左上に「天」・「地」・「人」と朱書される。「天」の項では十干十二支や星辰・二十八宿、五行などが記される。「地」の項は記載なし。「人」の項では、「以豆腐作雞卵秘法」など、様々な秘術が記される。

資料番号：044

資料名：「清評文草」

福崎目録：33頁 B/h/51「清評文草」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦23.8×横16.4cm

三木通深から羽倉宛、三木通深から松岡小鶴宛、松岡小鶴から三木通深宛の手紙などを収録。

資料番号：045

資料名：『畫筌』

福崎目録：33頁 B/h/52「画筌」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦26.7×横19.5cm

笥重光『畫筌』の写本。嘉永庚戌、三木尚之の書写。

資料番号：046

資料名：「壬子稿」

福崎目録：33頁 B/h/53「清評詩草」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦27.7×横20.3cm

三木通深の漢詩集。壬子稿4丁。残り1丁は、次項（資料番号047）に続く。

資料番号：047

資料名：「壬子稿・癸丑稿・甲寅稿・乙卯稿」

福崎目録：33頁 B/h/54「清評詩草」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦27.8×横20.2cm

三木通深の漢詩集。壬子稿残1丁（1首）、癸丑稿4丁（8首）、甲寅稿1丁（3首）、乙卯稿1丁（2首）から成る。ただし壬子稿は第5丁のみで第4丁以前を欠き、乙卯稿は次項資料に続く。嘉永五～安政二。9丁、無界無野11行不定字。

資料番号：048

資料名：「乙卯稿・丙辰稿」

福崎目録：33頁 B/h/55「清評詩草」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦27.2cm×横20.4cm

三木通深の漢詩集。朱筆による批正あり。安政二年（乙卯、一八五五年）より安政三年（丙辰、一八五六年）に至るまでのおよそ十七首（乙卯十一首、丙辰六首）を収める。上掲の「壬子稿・癸丑稿・甲寅稿・乙卯稿」に接続するものと考えられる。末尾には丙辰八月に清書した旨の識語を有す。6丁、四周双辺7行20字。郭内21.4cm×15.0cm。

資料番号：049

資料名：「癸丑稿」

福崎目録：33頁 B/h/56「清評詩草」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦27.7×横20.1cm

三木通深の漢詩集。「癸丑稿五」とあり、資料番号047「癸丑稿」の一部とみられる。

資料番号：050

資料名：「書啓底簿」

福崎目録：33頁 B/h/57「書啓底簿」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦23.5×横16.0cm

三木慎郎（通深）が送った書状の控えとみられる。「弘化三年」と「弘化五年」の表題をもつものを合わせている。

資料番号：051

資料名：『湯武論』

福崎目録：33頁 B/h/58「湯武論」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦27.7cm×横19.5cm

佐藤一斎述『湯武論』の鈔本。鈔写者や鈔年を示す記載なし。内題・外題とも「湯武論」。表紙共18丁、無界無罫11行不定字。

資料番号：052

資料名：「正月四日自姫路帰途」

福崎目録：33頁 B/h/59「正月四日自姫路帰途」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.2cm×横17.0cm

「本家」・「新家」・「別家」や「勘當」・「除帳」の語句は、漢文ではどのように記せばよいのかなど、漢詩作成時の疑問・質問を列举し、朱文にて回答する形式をとる。

資料番号：053

資料名：「十二月某日、姫路城北鄙」

福崎目録：33頁 B/h/60「十二月某日、姫路城北鄙」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.3cm×横17.1cm

三木通深から「垂鳳君執事」宛の手紙。

資料番号：054

資料名：「赤壁賦」

福崎目録：33頁 B/h/61「前赤壁賦」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦25.3cm×横17.3cm

蘇東坡「前赤壁賦」・「後赤壁賦」を書写したもの。朱筆による書き込みあり。書写者不明。

資料番号：055

資料名：「談實」

福崎目録：33頁 B/h/62「談実」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦23.7cm×横12.6cm

雑記。『孟子』などからの引用を抜き書きしたり、十三經の書名を列記するなど、雑多な内容の書き込みが見える。

資料番号：056

資料名：「葛訪」

福崎目録：33頁 B/h/63「葛訪」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦17.3cm×横12.6cm

語彙集。「何奈」（いかん）などの漢文常套句から、「暗々」（かささぎのこえ）など、多くの語句が記される。

資料番号：057

資料名：「覆文藁」

福崎目録：33頁 B/h/64「覆文藁」

書誌情報：仮綴4冊 外形寸法：縦17.2cm×横12.3cm

漢文の書き下し文と原文を並記したもの。原文には朱筆の書き込みあり。三木尚之の書写。

資料番号：058

資料名：「亡却字林卷之三」

福崎目録：33頁 B/h/65「亡却字林卷之三」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦15.9cm×横11.6cm

漢字の用例集。「卷之三」とある。

資料番号：059

資料名：「當歸乾歸」

福崎目録：33頁 B/h/66「当帰乾帰」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦16.9cm×横12.1cm

「當歸」・「乾歸」など、生薬の名称を列挙。

資料番号：060

資料名：「請帖安内状」

福崎目録：33頁 B/h/67「請帖安内状」

書誌情報：横帖1冊 外形寸法：縦12.0cm×横33.1cm

語彙集。「請帖安内状」、「謝帖レイデフ」など、漢語に対応する和語を記す。

資料番号：061

資料名：「天文」

福崎目録：33頁 B/h/68「天文」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦17.2cm×横12.3cm

「天文」・「時令」と題する文が見えるが、多くは上から墨筆で塗りつぶされている。

資料番号：062

資料名：「四海」

福崎目録：33頁 B/h/69「四海」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.5cm×横17.0cm

資料番号：063

資料名：「懷徳堂改正副墨例略」

福崎目録：33頁 B/h/70「懷徳堂改正副墨例略」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.3cm×横17.0cm

懷徳堂で用いられていた独自の訓点法（懷徳堂点）を記した凡例集。仮綴本、全二葉。一葉を上下二段に分け、上段に一般的な訓読法、下段に懷徳堂の訓読法を示しており、示された凡例はおおよそ四十六例。三木通深が懷徳堂で学んだ際の筆記と考えられる。

資料番号：064

資料名：「詩歌うつし」

福崎目録：33頁 B/h/71「詩歌うつし」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦17.0cm×横12.2cm

表題に「詩歌のうつし」とある。「七夕歌」などを多く収録。

資料番号：065

資料名：「毛詩品物図功寫」

福崎目録：33頁 B/h/72「毛詩品物図攷写」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦12.7cm×横9.7cm

資料番号：066

資料名：「嬌如面施下望闕」

福崎目録：33頁 B/h/73「嬌如面施下望闕」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦17.3cm×横12.2cm

雑記。冒頭に七言詩を載せるほか、雑多な語句解説を収録。

資料番号：067

資料名：「児嶋高德」

福崎目録：33頁 B/h/74「児嶋高德」

書誌情報：2枚 外形寸法：縦24.6cm×横34.4cm

和古堂蔵本、日本史卷一百七十列傳第九十七の児嶋孝徳の伝記を写したもの。

資料番号：068

資料名：「播州郡北宿村有古墳」

福崎目録：33頁 B/h/75「播州郡北宿村有古墳」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦25.7cm×横17.4cm

児嶋氏の伝記。播州郡北宿村に古墳があり、そこで児嶋範長（児嶋高德の父）が一族とともに戦死したこと、一人生き延びた範家が葬儀を行ったことなどを記す。

資料番号：069

資料名：「左和田範一和田範家之後」

福崎目録：34頁 B/h/76-1「左和田範一」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦24.8cm×横34.3cm

和田範一の事蹟を記す。三木慎三郎（通深）書。嘉永。

資料番号：070

資料名：「左和田範一ハ」

福崎目録：34頁 B/h/76-2「左和田範一」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦25.4cm×横96.1cm

和田範一の事蹟を記す。顕彰碑の建立時に記した銘文と思われる。資料番号069と関連あり。

資料番号：071

資料名：「礼記にいわく」

福崎目録：34頁 B/h/77「礼記にいわし」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦24.1cm×横199.0cm

冒頭に「礼記にいわく鸚鵡能言～」と、『礼記』曲礼上篇の一文が引用されている。

資料番号：072

資料名：「鶴者九轉」

福崎目録：34頁 B/h/78「鶴者九転」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.9cm×横132.7cm

上部に「西天蔓」・「甘松」・「石荷葉」などの生薬名を列記し、下部に和名や説明を付す。

資料番号：073

資料名：「仄韻之詩」

福崎目録：34頁 B/h/79「仄韻之詩」

書誌情報：1冊 外形寸法：縦17.8cm×横247.5cm

三木尚之の質問状。前部では作詩に関する質問が墨書され、それに対する回答が朱書される。後部では、上段に官職名が列挙され、下段に解説が朱書される。

資料番号：074

資料名：「疇昔所請」

福崎目録：34頁 B/h/80「疇昔祈請」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦18.0cm×横84.5cm

前部の下段に破損多し。後部には「陰陶帝虎」とは如何なる意味か、「教画之師」を先生と呼んでよいかなど、雑多な質問が墨書され、それに対する回答が朱書されている。

資料番号：075

資料名：「正月四日自姫路帰途上」

福崎目録：34頁 B/h/81「正月四日自姫路帰途上」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.3cm×横94.7cm

作詩における先生とのやりとりが記され、主に修正方法などの質問を載せる。他に自分の作詩と陶淵明の関係について述べた部分などがある。

資料番号：076

資料名：「質問」

福崎目録：34頁 B/h/82「質問」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.5cm×横111.0cm

質問状。前半は、「還曆」・「自彊不息」などの語源を質問し、解答が朱書される。後半には、並河寒泉が編集した中井蕉園の漢詩集『壩集』にみえる「織錦体詩」（第七冊所収）が記され、詩文とともに自註が付せられている。

資料番号：077

資料名：「李適仙之載酒楽」

福崎目録：34頁 B/h/83「李適仙之載酒楽」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.1cm×横150.7cm

質問状。李白の詩に関する質問などを記す。

資料番号：078

資料名：「疑問」

福崎目録：34頁 B/h/84「疑問」

書誌情報：2枚 外形寸法：①縦16.6cm×横164.5cm ②縦16.0cm×横75.3cm

質問状。中井竹山『東稽』に対する質問などを記す。

資料番号：079

資料名：「庚嶺ハ何処ニテ如何ナル処ヤ」

福崎目録：34頁 B/h/91「庚嶺ハ何処ニテ如何ナル処ヤ」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦23.0cm×横16.0cm

漢詩に関する質問を記す。「庚嶺」という場所や由来、『大学或問』の語句についての質問が墨書され、それに対する回答が朱書されている。

資料番号：080

資料名：「書懷五十韻」

福崎目録：34頁 B/h/86「書懷五十韻」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦27.6cm×横20.6cm

三木通深。全3葉。姫路藩初代藩主の酒井忠恭や寛延二年の百姓一揆のことなどが五言詩調で綴られている。

資料番号：081

資料名：「与津田遅莽書」

福崎目録：34頁 B/h/87「与津田遅幕書」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦28.3cm×横20.8cm

三木通深。全3葉。津田遅庵宛の文書などを収録。

資料番号：082

資料名：「詩餘ナルモノ」

福崎目録：34頁 B/h/88「詩餘ナルモノ」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.7cm×横17.2cm

質問状。全2葉（1葉は白紙）。「詩餘」（宋詞）に関する質問などを記す。

資料番号：083

資料名：「他人ノ碑ト祖父母父母等ノ碑ト」

福崎目録：34頁 B/h/89「他人ノ碑ト祖父母父母等ノ碑ト」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.4cm×横17.0cm

質問集。全4葉。前半は、「他人の碑と祖父母や父母の碑の文法は同じでよいのか」、「諸人には謚がないのか」などの質問を載せる。後半は、詩に関する質問で、中井竹山の説にも言及されている。

資料番号：084

資料名：「於問ノ表題」

福崎目録：34頁 B/h/90「於問ノ表題」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦24.8cm×横17.3cm

三木尚之の質問状。全1葉。文章に対する質問や、『大学』の「格物」とはどのようにすれば可能なのかなど、雑多な質問がみえる。

資料番号：085

資料名：「みつのとも」

福崎目録：34頁 B/h/91「みつのとも」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦17.6cm×横12.7cm

全2葉。詩に関する雑記。

資料番号：086

資料名：「詩稿」

福崎目録：34頁 B/h/92「詩稿」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦18.0cm×横12.5cm

三木尚之の漢詩。全3葉（白紙1葉、漢詩2葉）。「詩稿卷之弌 三木尚之童」とあるが、「卷之弌」以降はない。五言詩五首と七言詩七首を載せるが、七言詩七首目の途中で切れている。

資料番号：087

資料名：「七家宝」

福崎目録：34頁 B/h/93「七家宝口巖」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.4cm×横72.8cm

冒頭に「七家宝」とあり、以下、「侯家」・「山家」・「妓家」・「樵家」・「漁家」・「獵家」・「酒家」の七家についてそれぞれ詩を載せる。

資料番号：088

資料名：「春雨限韵」

福崎目録：34頁 B/h/94「春雨限韵」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦18.0cm×横73.6cm

三木尚之の漢詩。「春雨限韵」と題する七言詩一首、「村居限韵」と題する七言詩一首を載せる。朱筆による推敲の跡が窺える。

資料番号：089

資料名：「途中吟二首」

福崎目録：34頁 B/h/95「途中吟二首」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.2cm×横82.0cm

三木尚之の漢詩。「途中吟」と題する七言詩二首のほか、三首の七言詩を載せる。

資料番号：090

資料名：「無據又々申上候」

福崎目録：34頁 B/h/96「無據又々申上候」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.3cm×横58.5cm

詩に関する質問状。後半に簡易な画を載せる。

資料番号：091

資料名：「必推予執牛耳」

福崎目録：34頁 B/h/97「必推予執牛耳」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.1cm×横47.9cm

質問状。「松魚」・「旗亭」などの語句に対する質問を墨書し、その回答が朱書される。

資料番号：092

資料名：「憶梅泊梅客」

福崎目録：34頁 B/h/98「憶梅泊梅客」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.5cm×横56.6cm

梅に関する散文。

資料番号：093

資料名：「我妻の兄を」

福崎目録：34頁 B/h/99「我妻の兄を」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.2cm×横54.8cm

質問状。「妻の兄」・「妹の夫」をどう呼ぶのかなどの質問が記される。

資料番号：094

資料名：「鶺鴒マナツル」

福崎目録：34頁 B/h/100「鶺鴒」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦12.3cm×横39.2cm

「鶺鴒マナツル」・「山雞ヤマトリ」のように、多くの鳥名の漢字とそれに対応する和名を記す。

資料番号：095

資料名：「鐘銘」

福崎目録：34頁 B/h/101「鐘銘」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.8cm×横17.3cm

鐘の銘文を記す。正徳四年。

資料番号：096

資料名：「易書」

福崎目録：34頁 B/h/102「易書」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦24.5cm×横14.5cm

表題は「易書」。「八卦包圍之図」・「乾坤交子生」・「五行相生」・「五行相剋」などとともに、六十四卦を載せる。

資料番号：097

資料名：「備忘覚（仮題）」

福崎目録：34頁 B/h/103「備忘覚（仮題）」

書誌情報：横帖1冊 外形寸法：縦7.0cm×横12.7cm

雑記。様々な覚え書きと思われる。

資料番号：098

資料名：「随筆」

福崎目録：34頁 B/h/104「随筆」

書誌情報：横帖1冊 外形寸法：縦7.5cm×横15.5cm

一方には、「今冬之事」とあり、以下、「庶務課」・「聴訟課」・「租税課」・「出納課」などに区別して人名を列挙する。反対側には多くの押韻があり、印存のような体裁をとる。

資料番号：099

資料名：「芬舟院宗騫摸本」

福崎目録：34頁 B/h/105「芬舟院宗騫摸本」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦28.5cm×横19.5cm

十六紙一冊。右頁に題辭、左頁に山水画を載せる。

資料番号：100

資料名：「摸本類」

福崎目録：34頁 B/h/106「摸本類」

書誌情報：2束 外形寸法：縦cm×横cm

書・画の摸本。固めの用紙ではさんだ束が二つ。福崎町目録には「一括」とある。

資料番号：101

資料名：「華道関係書籍」

福崎目録：35頁 B/h/116「花道玄妙」

書誌情報：5冊

外形寸法：①「華道全書」（線装1冊）縦22.5cm×横16.1cm

②「容真御流 華術初傳之巻」（線装1冊）縦23.8cm×横16.2cm

③「華道家元 未生御流 華術三才之巻」（線装1冊）縦25.8cm×横18.6cm

④「華術 初傳三才之巻」（仮綴1冊）縦24.2cm×横17.6cm

⑤「華術 春秋之巻 奥傳」(仮綴1冊) 縦25.3cm×横17.3cm

いずれも華道関係の書籍。「B/h/116」としてまとめられているが、福崎目録では「花道玄妙」(1巻)となっており、表題・冊数とも一致しない。

資料番号: 102

資料名: 「法帖」

福崎目録: 35頁 B/h/129「法帖」

書誌情報: 1冊 外形寸法: 縦18.4cm×横5.9cm

三木加多。

資料番号: 103

資料名: 「伯深先生作并書」

福崎目録: 35頁 B/h/130「伯深先生作并書」

書誌情報: 1冊 外形寸法: 縦19.6cm×横6.0cm

末尾に、「股野順軒先生自作」とある。

資料番号: 104

資料名: 「法帖 □□□唐詩」

福崎目録: 35頁 B/h/131「法帖 □□□唐詩」

書誌情報: 1冊 外形寸法: 縦19.2cm×横6.2cm

「主人に〜」。竹臺の印有り。

資料番号: 105

資料名: 「備忘録」・「一知録」

福崎目録: 35頁 B/h/140「備忘録・一知録」

書誌情報: 2冊合冊 外形寸法: 縦16.5cm×横12.3cm

雑録。「備忘録」(明治三)と題する仮綴1冊と「一知録」と題する仮綴1冊の合冊。

資料番号: 106

資料名: 『明孝賀集』

福崎目録: 169頁 H9/丁1「明孝賀集(歌集)」

書誌情報: 線装1冊 外形寸法: 縦25.8×横17.3cm

但州養父郡市場小島祐次郎の母百歳を賀す歌集。外題「明孝賀集 全」、内題「明孝賀集」寛政二年完本。末尾に寛政三年の跋文あり。

資料番号：107

資料名：『逸史』第一冊

福崎目録：169頁 H9/丁2/1「逸史」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦29.5×横20.5cm

中井竹山『逸史』の写本。外題・内題なし。項目は以下の通り。

- ・「逸史自序」（寛政十一年、中井積善）〔五葉〕
- ・「進逸史牋」（寛政十一年、中井積善）〔三葉〕
- ・「逸史序」（寛政八年、脇屋蘭室）〔七葉〕
- ・「逸史題辭」（明和庚寅四月、箕陰逸史氏）〔五葉〕
- ・「逸史大君系表」〔二十四葉〕
- ・「逸史参考書目」〔七葉〕
- ・「逸史釋言」〔八葉〕
- ・「逸史目録」〔七葉〕

資料番号：108

資料名：『逸史』第二冊

福崎目録：169頁 H9/丁2/2「逸史卷之一」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦29.5×横20.5cm

外題なし。内題「逸史卷之一」。全三十二葉。

資料番号：109

資料名：『逸史』第三冊

福崎目録：169頁 H9/丁2/3「逸史卷之二」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦29.5×横20.5cm

外題なし。内題「逸史卷之二」。全四十五葉。

資料番号：110

資料名：「種之助京坂遊行扣」

福崎目録：169頁 H9/丁3/1「種之助京坂＝（辻＋族）行扣」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦17.5×横12.6cm

表題に「天保十二年 種之助京坂遊行扣 辛丑三月」とあり、裏面に「惣助」と記される。

資料番号：111

資料名：「繪本故事談卷之一」

福崎目録：169頁 H9/丁4/1「繪本故事談卷之一」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦22.5×横16.0cm

外題「繪本故事談六」（不鮮明）。内題「繪本故事談卷之第一」。外題には「六」と記されるが、内題には「一」とあり、「一」が正しいようである。正徳逢敦胖、浪速書肆宝文堂。

資料番号：112

資料名：「繪本故事談卷之二」

福崎目録：169頁 H9/丁4/2「繪本故事談卷之二」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦22.5×横16.0cm

外題「繪本故事談三」（不鮮明）。内題「繪本故事談卷之二」。外題には「三」と記されるが、内題には「二」とあり、「二」が正しいようである。

資料番号：113

資料名：「繪本故事談卷之三」

福崎目録：169頁 H9/丁4/3「繪本故事談卷之三」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦22.5×横16.0cm

外題「繪本故事談五」（不鮮明）。内題「繪本故事談卷之三」。外題には「五」と記されるが、内題には「三」とあり、「三」が正しいようである。

資料番号：114

資料名：「繪本故事談卷之五」

福崎目録：169頁 H9/丁4/4「繪本故事談卷之五」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦22.5×横16.0cm

外題「繪本故事談二」（不鮮明）。内題「繪本故事談卷之五」。外題には「二」と記されるが、内題には「五」とあり、「五」が正しいようである。

資料番号：115

資料名：「繪本故事談卷之七」

福崎目録：170頁 H9/丁4/5「繪本故事談卷之七」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦22.5×横16.0cm

外題「繪本故事談七」（不鮮明）。内題「繪本故事談卷之七」。

資料番号：116

資料名：「沼野刃傷実録」

福崎目録：170頁 H9/丁5/1「殿中刃傷録」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦22.3×横15.8cm

田沼意知（田沼意次の息子）と佐野政言との争いについて、将軍吉宗や天一坊事件などにも言及されている。外題「近代私説田沼佐野 殿中刃傷録」、内題「沼野刃傷実録」。

資料番号：117

資料名：「胸中大全」

福崎目録：170頁 H9/丁6/1「胸中大全」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦17.3×横11.8cm

『本朝武林伝』や『残太平記』などから、三木家の祖先とされる河野氏関連の記事を抄録した書。表紙には、「堅禁他見 極秘 胸中大全 三木尚之蔵」と記されている。

資料番号：118

資料名：「東征途上日記」「いろは短歌」ほか諸事の費用を記載」

福崎目録：170頁 H9/丁6/2「東征途上日記」「いろは短歌」ほか諸事の費用を記載」

書誌情報：横帖1冊 外形寸法：縦15.6×横7.5cm

雑録。「東征途上日記」、「いろは短歌」ほか、諸事の費用の記載などが見える。

資料番号：119

資料名：「墨口小品下巻」

福崎目録：170頁 H9/丁6/3「墨口小品下巻」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦8.3×横5.8cm

豊原善作輯『墨口小品下巻』（明治13年8月出版）。マメ本。表紙に火による破損あり。

資料番号：120

資料名：「都都逸を記載」

福崎目録：170頁 H9/丁6/4「都都逸を記載」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦8.7×横4.0cm

都都逸を多数記載。表紙に「三木拙」とある。

資料番号：121

資料名：「室津野本氏子竹臺君聳入之節吟作釋解」

福崎目録：170頁 H9/丁6/5「室津野本氏子竹台君聳入之節吟作釈解」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦23.8×横18.3cm

「聳入」を読んだ漢詩と、それに対する竹台（通深）の解釈が付せられている。

資料番号：122

資料名：『騶碧囊』

福崎目録：170頁 H9/丁6/6「騶碧囊」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦24.3×横16.8cm

中井蕉園の紀行詩文集である『騶碧囊』の写本。天保九年三木尚之（通深）の書写。『騶碧囊』とは、『騶囊』『碧囊』各1冊の総称で、この通深抄写本はその両書を収録。

資料番号：123

資料名：『葭玉編』

福崎目録：170頁 H9/丁6/7「葭玉編完」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦26.5×横18.4cm

中井蕉園の「閑居」「閑遊」「感懷」三十首に弟子の菅野景知が和した唱和漢詩集。外題「葭玉編完」、内題なし。冒頭に菅野景知の「葭玉編序」が付せられている。

資料番号：124

資料名：『女大学』

福崎目録：170頁 H9/丁7/1「女大学」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦28.0×横20.0cm

貝原益軒の作とされる『女大学』の写本。半葉三行、三字～七字程度。末尾に「益軒貝原先生述」とある。

資料番号：125

資料名：『唐詩選講釋』三

福崎目録：170頁 H9/丁8/1「唐詩講釈三」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦22.5×横15.7cm

千葉玄之『唐詩選講釋』の刊本（寛政二年）。「唐詩選講釋卷之三」と「唐詩選講釋卷之四」を収録。

資料番号：126

資料名：『唐詩選講釋』四

福崎目録：170頁 H9/丁8/2「唐詩講釈四」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦22.5×横15.7cm

千葉玄之『唐詩選講釋』の刊本。「唐詩選講釋卷之五」と「唐詩選講釋卷之六」を収録。

資料番号：127

資料名：『唐詩選講釋』五

福崎目録：170頁 H9/丁8/3「唐詩講釈」

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦22.5×横15.7cm

千葉玄之『唐詩選講釋』の刊本。「唐詩選講釋卷之七」を収録。末尾に「徂徠跋」と「唐詩選講釋跋」あり。

資料番号：128

資料名：「瀬加川より中須田地迄新溝一件諸事扣」

福崎目録：170頁 H9/丁9/1「瀬加川与里中須田地迄新溝一件諸事扣」

書誌情報：横帖1冊 外形寸法：縦17.2×横12.3cm

文政十三庚寅年八月。新開場江水引新溝願出から普請にかけて周辺諸村との調整などを記す。

資料番号：129

資料名：「〔覚〕（明治九年・十年分東田原村差引勘定）」

福崎目録：170頁 H9/丁9/2「差引勘定書上」

書誌情報：2枚 外形寸法：①縦23.0×横32.2cm ②縦23.2×横31.3cm

東田原村にかかる地租の納入に関する差引勘定。（辰三月二十一日受取）

資料番号：130

資料名：「〔覚〕（八年・九年・十年地租代書上）」

福崎目録：170頁 H9/丁9/3「地租代書上」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦12.3×横32.8cm

落ヶ池尻新田等の明治8・9・10年分地租書上。

資料番号：131

資料名：「〔覚〕（地租代書上）」

福崎目録：170頁 H9/丁9/4「地租代書上」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦12.3×横33.0cm

東田原ニ残り分・九年分・十年分の地租代書上、付箋あり。

資料番号：132

資料名：「〔書付〕（小畑村旱損拝借金償還記録）」

福崎目録：170頁 H9/丁9/5「差引勘定書上」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦24.2×横33.0cm

早損につき小畑村の九年・十年分借入金及び十一・十二年元り金の記録。

資料番号：133

資料名：「〔覚〕（新開地一反一畝一七歩につき）」

福崎目録：170頁 H9/丁9/6「租税高差引算用書上」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦12.3×横33.0cm

新開地につき明治九年より地租徴収につき。

資料番号：134

資料名：「記」

福崎目録：170頁 H9/丁9/7「記」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦14.6×横16.3cm

秣米7斗、此玄米8斗7升5合受取につき。（明治）13年辰3月2日 藤本太平→本家 三木

資料番号：135

資料名：「記」

福崎目録：170頁 H9/丁9/8「記」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦14.2×横13.9cm

米15俵請取につき。明治13年2月24日 西田原村 藤本太平→三木承太郎

資料番号：136

資料名：「記」

福崎目録：170頁 H9/丁9/9「記」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.8×横21.5cm

地価24,721円48銭1厘、地租総差引160円58銭5厘不足。明治10年

資料番号：137

資料名：「〔金額書上〕」

福崎目録：170頁 H9/丁9/10-A「金額書上」※福崎目録で番号重複のためAとする。

書誌情報：1枚 外形寸法：縦14.7×横21.2cm

〆13円45銭8厘。辰8月

資料番号：138

資料名：「種籾請取通」

福崎目録：170頁 H9/丁9/10-B「種籾請取通」※福崎目録で番号重複のためBとする。

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦12.5×横34.3cm

馬田村豫備穀掛より米2斗1升5才請取につき。

明治13年辰1月 馬田村 植岡源四郎・橋本太七郎→辻川村 三木承太郎

資料番号：139

資料名：「蓄積米通」

福崎目録：170頁 H9/丁9/11「蓄積米通」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦12.5×横34.3cm

地価金749円70銭、米1斗1升2合

明治13年1月 擔任者 浮田丈次郎・口岡〔カ〕新十郎→旧辻川 三木承太郎

資料番号：140

資料名：「記」

福崎目録：170頁 H9/丁9/12「記」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦23.8×横32.2cm

米1俵をこの者へ渡すようお願い。

（明治）15年4月29日 品文校新口掛り 真田勝蔵→会計掛 三木承太郎

資料番号：141

資料名：「西田原村耕地」

福崎目録：170頁 H9/丁9/13「西田原村耕地明細書上」

書誌情報：2枚 外形寸法：①縦23.1×横30.8cm ②縦23.1×横30.8cm

反別31町3反5畝20歩、地価24,956円21銭9厘、地租623円91銭1厘ほか明細書上。（近代）

資料番号：142

資料名：「記」

福崎目録：170頁 H9/丁9/14「記」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦23.2×横31.6cm

米式俵の拝借願出につき御渡し願ひ。明治十五年八月七日 藤本太平→本家 三木

資料番号：143

資料名：「〔覚〕人別年貢米書上げ」

福崎目録：170頁 H9/丁9/15「年貢通」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.2×横117.6cm

総額五四石九斗三升式合四勺。

資料番号：144

資料名：「賀状」

福崎目録：171頁 H9/戊1/1「賀状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.3×横55.6cm

浦上春琴→三木種之助。正月二十二日。（封筒入）

資料番号：145

資料名：「画具などに関する書状」

福崎目録：171頁 H9/戊1/2「画具などに関する書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.5×横82.0cm

睡庵→笠峰。九月十六日。

資料番号：146

資料名：「病により金子都合してほしいとの旨」

福崎目録：171頁 H9/戊1/3「病により金子都合してほしいとの旨」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.6×横80.3cm

三木→？。六月二十一日。

資料番号：147

資料名：「中元の品者に対する礼状」

福崎目録：171頁 H9/戊1/4「中元の品者に対する礼状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.1×横69.5cm

睡選→笠峰兄。八月六日。

資料番号：148

資料名：「賀儀一服拝収の礼及び絵画等について」

福崎目録：171頁 H9/戊1/5「賀儀一服拝収の礼及び絵画等について」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.7×横76.2cm

睡庵→笠峰兄。三月四日。

資料番号：149

資料名：「年頭のあいさつ並びに金一封への礼状」

福崎目録：171頁 H9/戊1/6「年頭のあいさつ並びに金一封への礼状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.3×横88.9cm

睡庵→笠峰。正月十三日。

資料番号：150

資料名：「山水画等に関する書状」

福崎目録：171頁 H9/戊1/7「山水画等に関する書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦18.1×横55.8cm

睡庵→笠峰。五日。

資料番号：151

資料名：「和歌四首書上」

福崎目録：171頁 H9/戊2/1「和歌四首書上」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.3×横43.6cm

和歌四首。

資料番号：152

資料名：「作歌についての書上」

福崎目録：171頁 H9/戊2/2「「まへのうたのちのうたのまへにかきいるゝふき」と題する作歌についての書上」

書誌情報：2枚 外形寸法：①縦15.7×横38.1cm ②縦15.6×横42.6cm

資料番号：153

資料名：「漢詩文」

福崎目録：171頁 H9/戊2/3「漢詩文」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.2×横22.8cm

草→？。七言詩。

資料番号：154

資料名：「年頭作成の和歌」

福崎目録：171頁 H9/戊2/4「年頭作成の和歌」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.5×横45.2cm（二つ折り）

広長→？。

資料番号：155

資料名：「和歌書上」

福崎目録：171頁 H9/戊2/5「和歌書上」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.3×横12.6cm

嘯(?)風→?。

資料番号：156

資料名：「某品物代金掛合の事についての書状」

福崎目録：171頁 H9/戊2/6「某品物代金掛合の事についての書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.1×横13.5cm

(貴兄)

資料番号：157

資料名：「訪問－届けていただきたい旨書状」

福崎目録：171頁 H9/戊2/7「訪問－届けていただきたい旨書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.4×横41.8cm

石春→東之助。二月二日。

資料番号：158

資料名：「古歌等の字義消息等の書上」

福崎目録：171頁 H9/戊2/8「古歌等の字義消息等の書上」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.9×横42.7cm

資料番号：159

資料名：「心持ちのあり方を書きつづった書状」

福崎目録：171頁 H9/戊2/9「心持ちのあり方を書きつづった状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.6×横59.7cm

資料番号：160

資料名：「廣瀬門人、竹田翁門人名書上」

福崎目録：171頁 H9/戊2/10「廣瀬門人、竹田翁門人名書上」

書誌情報：1枚（五紙の貼り合わせ）

外形寸法：①縦15.8×横10.2cm②縦15.0×横22.1cm③縦15.5×横33.4cm

④縦15.3×横13.7cm⑤縦16.2×横42.0cm

人名を多数列举。

資料番号：161

資料名：「三木通深宛浦上春琴書簡」

福崎目録：171頁 H9/戊2/11「三木通深宛浦上春琴書簡」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.4×横56.2cm

睡庵→笠峰兄。

資料番号：162

資料名：「和歌三首書上」

福崎目録：171頁 H9/戊2/12「和歌三首書上」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.4×横44.0cm

資料番号：163

資料名：「断簡」

福崎目録：171頁 H9/戊2/13「断簡」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.0×横5.7cm

資料番号：164

資料名：「書画帖御催ニ付」

福崎目録：171頁 H9/戊3/1「書画帖御催ニ付案内状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.4cm×横86.7cm

侯野勇から三木慎三郎への書状。書画帖御催候のこと。林田屋小賢のお頼みについて委細承りの趣のこと。

資料番号：165

資料名：「写真之賛及び書画帖認上」

福崎目録：171頁 H9/戊3/2「写真之賛々書画帖認上候事」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.4cm×横70.5cm

稲岡頼善から竹台（三木通深）への書状。写真の賛・書画帖をしたためることについてのこと。

資料番号：166

資料名：「草稿について、聚訟の恐れ有之候事」

福崎目録：171頁 H9/戊3/3「〈何かの〉草稿送付に対して、見聞の上意見を述べる等」

書誌情報：1枚 書簡：縦16.3cm×横52.2cm

後藤春蔵（松蔭）から三木慎三郎への書状。（三木の）草稿を拝見したところ、聚訴（まとまりがない）の恐れがあること往々なりと述べる。

資料番号：167

資料名：「任鴻便について御尋」

福崎目録：171頁 H9/戊3/4「音信御尋状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.0cm×横43.3cm

依田雄次郎から三木口三郎への書状。任鴻便御尋について。

資料番号：168

資料名：「詩画差し上げ候こと頼遣わし一幅送りの事」

福崎目録：171頁 H9/戊3/5「詩画一服頼遣す事」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦18.1cm×横32.0cm

弼（浦上春琴）から三木への書状。詩画頼み遣したところ、二幅来たため一幅差し上げ送ること。

資料番号：169

資料名：「口上 りき女法号について」

福崎目録：171頁 H9/戊3/6「口上 院妙号御書上状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.6cm×横32.3cm

尚正から三木通深への書状。りき女の法号を「至信院妙達日意」としたと届け出たこと。また、佐兵衛の到着が延引となっているが、今日は是非とも罷り出で候様存じ上げること。

資料番号：170

資料名：「御染筆物御差出され候御礼」

福崎目録：171頁 H9/戊3/7「御贈物御答礼状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.2cm×横62.5cm

伊藤寿賀蔵（東峯）から三木寿三郎への書状。兼ねてからお頼みの御染筆物を落手したことについて、御礼申し上げますこと。

資料番号：171

資料名：「文房珍翫一品新収のこと」

福崎目録：171頁 H9/戊3/8「文房珍玩翫一品収蔵之事」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.0cm×横68.5cm

芹田昇から三木慎三郎への書状。文房珍翫一品を新に収蔵したいため、価銀を懸け合いのこと。

資料番号：172

資料名：「御手教之趣御答書」

福崎目録：171頁 H9/戊3/9「御手教之趣御答書」
書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.8cm×横31.0cm

寅から竹台（三木通深）への書状。御手教の趣を尋ねることについて、答を書入れ尊覽していただいたこと。

資料番号：173

資料名：「中井七郎画卷差上について」

福崎目録：171頁 H9/戊3/10「三木通深宛中井碩果書簡」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.7cm×横69.5cm

中井七郎（碩果）から三木種之助への書状、七郎作成の画卷を差し上げることについて。
※包紙には「三木種之助様 中井七郎 当本二冊添」と記す。

資料番号：174

資料名：「老母様御悔見舞いについて」

福崎目録：171頁 H9/戊3/11「老母様御悔ニ付御知らせ状書」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.4cm×横44.3cm

平次郎から三木慎三郎への書状。老母様死去のお知らせについて、書中にて見舞いを申すべきところ、取紛の状況であったので、延引となってしまったことを詫びる。

資料番号：175

資料名：「書画帖御催成之趣」

福崎目録：171頁 H9/戊3/12「書画帖贈答状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.7cm×横91.7cm

稲岡から公達（三木通深）への書状。書画帖を作成の趣について。

資料番号：176

資料名：「道中報告御知らせ状」

福崎目録：171頁 H9/戊3/13「江戸への道中報告御知らせ状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.8cm×横81.0cm

次郎左衛門から休和への書状。美濃路途中にて相認める。道中遅滞なく進んでいること。

資料番号：177

資料名：「〔書状〕筑州候御通行之節無心申一条内證御取計につき」

福崎目録：171頁 H9/丁3/14「筑州様御通行ニ付御人調達之事」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.6cm×横54.4cm

筑州侯が御通りになるので加古川へ罷出た。気の毒に思われて無心を聞き調達していただいたことに対する礼。4月20日 省左衛門→藤作

資料番号：178

資料名：「〔書状〕基石の代銀支払いにつき」

福崎目録：172頁 H9/3/15「□、基石、代銀ニ付」

書誌情報：1枚 外形寸法：18.0縦cm×横52.0cm

基石代銀の支払いについて、前文の期日までに納品するために、早々に代銀を支払う様求める旨。7月6日 和泉屋仁右衛門→三木謙三郎

資料番号：179

資料名：「年賀ニ付贈答御礼状」

福崎目録：172頁 H9/丁3/16「年賀ニ付贈答御礼状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.1cm×横44.1cm

地山(謙)→笠峰

資料番号：180

資料名：「〔書状〕桜氏面会のほか客屋事などにつき御同慶の旨」

福崎目録：172頁 H9/丁3/17「桜氏面会についてなどを記す書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.2cm×横37.5cm

正月23日 篠崎長左衛門→三木種之助

資料番号：181

資料名：「毎々御懇情の礼」

福崎目録：172頁 H9/丁3/18「懇情に対し有難くまた明日は在宿しているなどの旨書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.0cm×横58.5cm

今明日は少々内用向につき在宿の旨あり。

5月4日 幾四郎→慎三郎

資料番号：182

資料名：「〔書状〕書画上達につき」

福崎目録：172頁 H9/丁3/19「恵蔵品に対する礼状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.2cm×横27.1cm

他出留守中に潤筆一封御恵投につき、弥書画の上達を褒める旨。

福州→笠峯英才

資料番号：183

資料名：「〔書状〕年賀及び書状の答書延引について」

福崎目録：172頁 H9/丁3/20「新年のあいさつ及び恵投品へのお礼、拝答書姫路簿一口生へ提出の旨書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.3cm×横115.7cm

返書延引の理由として体調不良や姫路藩書生の間違いなどを挙げて説明する旨。

2月21日 川田八之助→三木謙三郎

資料番号：184

資料名：「〔書状〕寒中見舞及び近況報告」

福崎目録：172頁 H9/丁3/21「寒中見舞状」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦15.7cm×横45.0cm

寒中見舞の紙背に去々年の出府など近況報告。12月13日 荻野七左衛門（花押）→三木慎三郎

資料番号：185

資料名：「〔書状〕恵投被下につき礼状」

福崎目録：172頁 H9/丁3/22「礼状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦14.3cm×横55.7cm

岩城への書状相認むにつき伝達被下度旨。初冬12日 適處薫

資料番号：186

資料名：「〔書状〕落田屋権九郎に金子差出につき」

福崎目録：172頁 H9/丁3/23「二三日に落田屋権九郎に金子を差出した旨通知、その後の経過について」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.2cm×横74.5cm

落田屋の返書遅滞につき延引の旨を記す。端裏書あり。3月28日 下田重次郎→三木真三郎

資料番号：187

資料名：「〔書状〕欠達面会難計につき御転書被下様願い」

福崎目録：172頁 H9/丁3/24「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.9cm×横75.4cm

備作・但馬等へ参り面会難計につき。28日 適處薫→簗山雅弊

資料番号：188

資料名：「〔書状〕御草稿落収につき」

福崎目録：172頁 H9/丁3/25「通知・礼状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.3×横36.4cm

前は小子出郷のため、そのまま相過申候、此度草稿差遣候につき収める様記す。

4月3日 下田重二郎→三木種之助

資料番号：189

資料名：「〔書状〕懷徳書院へ罷在事断無之事など」

福崎目録：172頁 H9/丁9/26「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦11.3×横37.8cm

江戸より聞合せなど有之趣皆お聞取り被下につき。弼→竹臺

資料番号：190

資料名：「三木通庸賀歌詠草」

福崎目録：172頁 H9/戊4/1「和歌五首書上」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦13.7×横39.2cm

詠題「露金千年寿」・「松賀の年」・「松為友」・「詠松」・「春竹祝」による賀歌計十二首を収める。添削あり。

資料番号：191

資料名：「和歌三首詠草」

福崎目録：172頁 H9/戊4/2「和歌三首書上」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.4×横19.7cm

詠題「海辺霞」・「山家鶯」・「旅行友」による和歌三首を収める。

資料番号：192

資料名：「和歌五首詠草」

福崎目録：172頁 H9/戊4/3「藤と題する和歌以下三首書上」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.3×横22.3cm

詠題「藤」の和歌二首、「暮春」の和歌三首、計五首を収める。

資料番号：193

資料名：「三木通庸新春和歌詠草」

福崎目録：172頁 H9/戊4/4-1「自作和歌集」

書誌情報：1枚（二つ折り） 外形寸法：縦15.5×横44.5cm

詠題「歳旦」・「歳末」の和歌各一首、「早春風」の和歌二首、鶯を詠んだ一首計五首を墨書で収める。添削あり。二丁表～三丁表にかけて、和歌二首を朱書で収める。なお、資料番号204（H9/戊4/4-12）は、本詠草の草稿に相当する。

資料番号：194

資料名：「三木通庸新春和歌詠草」

福崎目録：172頁 H9/戊4/4-2「自作和歌集」

書誌情報：1枚（二つ折り） 外形寸法：縦15.5×横44.1cm

詠題「歳旦」・「歳末」・「若菜」・「子日」・「立春」による和歌五首、詞書「二日雪のふるをみてよめる」・「三日の夕日をみて」・「六日妙法山へまふてける道にてよみぬ」・「七日の馬をよめり」による和歌四首、計九首を収める。添削あり。

資料番号：195

資料名：「三木通庸竹題和歌五首詠草」

福崎目録：172頁 H9/戊4/4-3「竹と題する和歌草稿」

書誌情報：1枚 外形寸法：①縦15.1×横52.5cm ②縦17.2×横14.5cm

詠題「竹」による和歌（賀歌）五首を収める。また、末尾に漢詩（五言絶句）を添える。添削あり。

資料番号：196

資料名：「三木通庸春歌詠草」

福崎目録：172頁 H9/戊4/4-4「自作和歌集」

書誌情報：1枚（二つ折り） 外形寸法：縦15.5×横44.3cm

春の詠題「躑躅」・「杜若」・「山吹」・「落花」・「蛙」・「土筆」・「糸桜」による和歌計十五首を収める。

資料番号：197

資料名：「三木通庸梅花久薰題和歌五首草稿」

福崎目録：172頁 H9/戊4/4-5「梅花久薰と題する和歌書上」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.3×横30.8cm

詠題「梅花久薰」による和歌五首を収める。なお、本詠草は、資料番号203（H9/戊4/4-11）の草稿に相当する。

資料番号：198

資料名：「三木通庸和歌八首詠草」

福崎目録：172頁 H9/戊4/4-6「和歌書上」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.7×横53.8cm

孫を連れて丹波国へ移った妻に贈る和歌五首と、「孫お梅」の折句三首の計和歌八首を収める。

資料番号：199

資料名：「夏歌九首詠草」

福崎目録：172頁 H9/戊4/4-7「自作和歌集」

書誌情報：1枚（二つ折り） 外形寸法：縦15.5×横42.5cm

詠題「五月晴」・「蟬」・「水鶏」・「早苗」・「照射」による和歌計九首を収める。添削あり。

資料番号：200

資料名：「三木通庸月題和歌詠草」

福崎目録：172頁 H9/戊4/4-8「自作和歌集」

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦15.7×横43.5cm

「独見月」、「向山待月」等「月」を含む二字～四字詠題による和歌計四十四首を収める。添削あり。

資料番号：201

資料名：「和歌九首詠草」

福崎目録：172頁 H9/戊4/4-9「和歌九首書上」

書誌情報：1枚（二つ折り） 外形寸法：縦15.3×横43.8cm

詠題「埋火」・「泡雪」による和歌二首のほか、詞書による和歌七首を収める。添削あり。

資料番号：202

資料名：「和歌三首詠草」

福崎目録：172頁 H9/戊4/4-10「和歌三首書上」

書誌情報：1枚（二つ折り） 外形寸法：縦15.5×横44.1cm

「河島何かし」の妻の死を悼む和歌、詠題「猫」・「鼠」による和歌計三首を収める。添削あり。

資料番号：203

資料名：「三木通庸梅久薫題和歌五首詠草」・「三木通庸和歌四首詠草」

福崎目録：172頁 H9/戊4/4-11「梅久薫と題する和歌三首」

書誌情報：1枚（二つ折り） 外形寸法：縦16.0×横43.4cm

（1）詠題「梅久薫」による和歌五首を収める。資料番号197（H9/戊4/4-5）は、当該詠草の草稿に相当する。添削あり。（2）寛政五年冬に西宮中川家を嗣いだ神谷惟幾が初老の春を迎えたことを祝う和歌一首、雪の降る妙法山を詠んだ一首、「姫路へまかりけるみちにて」二首、計四首の和歌を収める。添削あり。

資料番号：204

資料名：「三木通庸初春和歌五首草稿」

福崎目録：172頁 H9/戊4/4-12「歳旦と題する和歌等書上」

書誌情報：2枚 外形寸法：①縦17.4×横36.0cm ②縦15.0×横4.7cm

資料番号193（H9/戊4/4-1）は、本草稿の清書に相当。内容は、資料番号193に同じ。

資料番号：205

資料名：「三木通深宛中井桐園書簡（十二月二十二日）」

福崎目録：172頁 H9/戊5/1「四書六経の転写願い」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.5×横126.5cm

三木通深に対し、四書六経の貸出が難しい旨を述べている。まず、自身の四書六経は、日常手元に置く必要があるので、遠方へは貸し出せないことを断る。さらに、懷徳堂（大阪学校）の書入れのある六経は、先代の直筆であるため、門外不出となっており、取寄せることはできず、大阪学校において転写することも現実的ではなく、「於僕取計仕候」と述べる。『福崎町史』第四卷（福崎町史編集専門委員会、一九九一年、九五頁）に翻刻がある。書簡の一部、すなわち「故相成候事」以前が欠けている。

資料番号：206

資料名：「三木通深宛中井桐園書簡（正月九日）」

福崎目録：172頁 H9/戊5/2「金二朱恵投に対する礼状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.5×横30.2cm

昨年師走の「寒中御訊問」及び「金式朱御恵投」に対する感謝を述べる。また、昨冬に『逸史』を送付したが、その際、「疑字冊」（通深が『逸史』の誤字誤植を指摘したものと思われる、資料番号205（H9/戊5/1）書簡参照）を封入し忘れていたので、この便で送る旨を記している。

資料番号：207

資料名：「三木通深宛中井桐園書簡（五月十五日）」

福崎目録：172頁 H9/戊5/3「『逸史』の転写について」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.0×横132.0cm

通深書簡への返信。通深の体調回復を喜ぶ。桐園は、転写のため、通深へ『逸史』を貸し出しているのだが、このうち、子之巻の返却を確認した旨連絡している。順番を考えると、次は、丑之巻を貸し出すことになるが、講義前の準備で頻繁に用いること、他にも借用しなければならないことから、五之巻を貸し出す旨を連絡している。また、通深が送ってきた『逸史』の「疑字録」（誤字誤植の類についての指摘をまとめたものか）を参観し、原本と校合の上、疑わしい字のそばに指摘を書入れたことを述べている。ほかに、江戸の旗本河村順次郎から、三木家への贈物を預かっており、来坂の際、立ち寄るよう要請している。河村から伝えられたことを踏まえてであろうか、『草茅危言』『政談』が将軍が日常的に読んでいることは知っていたが、『恤刑茅議』を将軍が読んでいることは今回初めて知ったと記し、さらに、松代藩主（「真田侯」）も『草茅危言』を信奉し、藩士に写し取らせている旨を述べている。二伸において、通深に篆刻を依頼した印章の側面部について、刻すべき字を図入りで指示している。『福崎町史』第四巻（前掲、九六頁）に翻刻がある。

資料番号：208

資料名：「中井桐園書簡（三木通深宛）」

福崎目録：172頁 H9/戊5/4「『倭姫世紀』『北史』について」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.3×横99.3cm

中井桐園（及泉）から三木通深へ宛てた手紙。「八月廿六日」付。通深から照会された『倭姫世紀』『北史』が懷徳堂に架蔵されておらず、書肆などに探させたが入手できなかったことを報告する。また及泉の「外講多忙」のほか、並河寒泉の「風邪ニ引籠居」なども報告されていて興味深い。

資料番号：209

資料名：「日清戦争の「御垂事」」

福崎目録：172頁 H9/戊6/1「日清戦争の「御垂事」」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦27.3×横39.9cm

日清戦争の「御垂事」。

資料番号：210

資料名：「「凶作ニ付」見分願い」

福崎目録：172頁 H9/戊6/2「「凶作ニ付」見分願い」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦31.2×横50.6cm

辻川組北之村百姓代市三郎他四名。天明三年。

資料番号：211

資料名：「書簡」

福崎目録：173頁 H9/戊7/1「書簡」

書誌情報：2枚1組 外形寸法：①縦17.0×横9.8cm②縦17.0×横11.5cm

知非子→三木賢弟。

資料番号：212

資料名：「書簡断簡」

福崎目録：173頁 H9/戊7/2「書簡断簡」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.3×横20.5cm

資料番号：213

資料名：「記 油屋入高の件に付き書状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/3「記 油屋入高の件に付き書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.5×横32.2cm

かのふや貞二郎→秀四郎。

資料番号：214

資料名：「覚 所持田畑高書上」

福崎目録：173頁 H9/戊7/4「覚 所持田畑高書上」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.5×横56.3cm

東小畑村試補所→辻川三木。明治五年。

資料番号：215

資料名：「口上 金子の義に付相談申度候書状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/5「口上 金子の義に付相談申度候書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.0×横36.1cm

新鋸→辻川秀四郎。

資料番号：216

資料名：「口上 詰算渡銀子不足に付口上」

福崎目録：173頁 H9/戊7/6「口上 詰算渡銀子不足に付口上」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.3×横41.2cm

土奈町中谷→辻川三木氏。

資料番号：217

資料名：「書状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/7「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.3×横81.6cm

苾→三木畏兄。

資料番号：218

資料名：「大塩平八郎并その一統の者の件に付触達」

福崎目録：173頁 H9/戊7/8「大塩平八郎并その一統の者の件に付触達」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.9×横42.5cm

天保八年。

資料番号：219

資料名：「書状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/9「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.0×横47.1cm

超→三木大哥。

資料番号：220

資料名：「近況報告」

福崎目録：173頁 H9/戊7/10「近況報告」

書誌情報：1枚 外形寸法：（書状）縦16.6×横33.2cm（包紙）縦17.1×横23.8cm

元二郎→□三郎。

資料番号：221

資料名：「書状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/11「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.7×横69.1cm

水元八内他三名→三木種之助。

資料番号：222

資料名：「書状の到着月日等諸事書付」

福崎目録：173頁 H9/戊7/12「書状の到着月日等諸事書付」

書誌情報：2枚1組 外形寸法：（前半）縦16.0×横42.2cm（後半）縦15.8×横42.3cm

丙午二・二〇夜半。

資料番号：223

資料名：「書状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/13「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.3×横81.3cm

大熊文叔→三木慎三郎。

資料番号：224

資料名：「滞在中の御馳走に対する御礼」

福崎目録：173頁 H9/戊7/14「滞在中の御馳走に対する御礼」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.7×横72.3cm

上杉→三木藻作種之助。

資料番号：225

資料名：「吉田村小百姓から辻川大庄屋宛の包紙」

福崎目録：173頁 H9/戊7/15「吉田村小百姓から辻川大庄屋宛の包紙」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦24.4×横33.7cm

辻川大庄屋→吉田村小百姓。

資料番号：226

資料名：「書状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/16「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：(書簡)縦14.8×横72.9cm (包紙)縦18.2×横4.5cm

臺山三木実契→中川 信。

資料番号：227

資料名：「左蔵ほか諸人についての近況報告」

福崎目録：173頁 H9/戊7/17「左蔵ほか諸人についての近況報告」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.0×横121.7cm

梅井良蔵→三木慎三郎。

資料番号：228

資料名：「礼状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/18-1「礼状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.8×横52.8cm

川村順次郎→三木東作三木種之助。

資料番号：229

資料名：「年始の御祝」

福崎目録：173頁 H9/戊7/18-2「年始の御祝」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦15.7×横41.7cm

川村順次郎→三木東作三木種之助。

資料番号：230

資料名：「書状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/19「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.0×横57.9cm

苾→三木畏兄。

資料番号：231

資料名：「改暦吉兆ニ際しお祝いの挨拶」

福崎目録：173頁 H9/戊7/20「改暦吉兆ニ際しお祝いの挨拶」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.4×横43.8cm（書簡部分）

桜井三郎→三木謙三郎。

資料番号：232

資料名：「書状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/21「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.2×横57.2cm

桜井良蔵→三木慎三郎。

資料番号：233

資料名：「出世様に対する意見」

福崎目録：173頁 H9/戊7/22「出世様に対する意見」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.2×横75.3cm

桜井良蔵→三木慎三郎。

資料番号：234

資料名：「礼状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/23「礼状」

書誌情報：2枚1組 外形寸法：(前半)縦15.8×横23.6cm (後半)縦15.8×横71.7cm

桜井一太郎→三木慎三郎。

資料番号：235

資料名：「報告」

福崎目録：173頁 H9/戊7/24「報告」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.0×横72.0cm

桜井一太郎、桜井良蔵→三木慎太郎。

資料番号：236

資料名：「今年帰国する際会って話がしたい」

福崎目録：173頁 H9/戊7/25「今年帰国する際会って話がしたいということ及び曾父が去年亡くなったことの見舞い」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦14.8×横97.0cm

佐田雄次郎→三木慎三郎。

資料番号：237

資料名：「書簡断簡」

福崎目録：173頁 H9/戊7/26「書簡断簡」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.2×横23.4cm

和歌を記したものか。

資料番号：238

資料名：「送別に対する追記」

福崎目録：173頁 H9/戊7/27「送別に対する追記」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.2×横32.4cm

不二岡→笠峯。

資料番号：239

資料名：「書状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/28「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.3×横58.5cm

上杉梁三→三木藤作 三木種之助。

資料番号：240

資料名：「書状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/29「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.6×横39.6cm

上杉→三木

資料番号：241

資料名：「書状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/30「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.2×横97.5cm

桜井一太郎→三木藤作三木寿三郎。

資料番号：242

資料名：「書状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/31「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.2×横33.2cm

関口万助→三木藤作。包紙有り。

資料番号：243

資料名：「催促状」

福崎目録：173頁 H9/戊7/32「催促状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.2×横46.9cm

関口万助→三木藤作

資料番号：244

資料名：「書簡」

福崎目録：173頁 H9/戊7/33「書簡」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.5×横61.0cm

王年→三木。包紙有り。

資料番号：245

資料名：「覚 代金受取の覚」

福崎目録：173頁 H9/戊7/34「覚 代金受取の覚」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.4×横25.8cm

しまつや孫四郎→御本家。

資料番号：246

資料名：「覚 代金受取に付覚」

福崎目録：173頁 H9/戊7/35「覚 代金受取に付覚」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.4×横28.3cm

中谷→三木

資料番号：247

資料名：「御礼及び近況報告」

福崎目録：174頁 H9/戊7/36-1「御礼及び近況報告」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.0×横103.8cm

桜井良蔵→三木種之助。※36-1～36-5はつながっている。

資料番号：248

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/36-2「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.2×横74.0cm

桜井良蔵→三木藤作。

資料番号：249

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/36-3「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.0×横102.7cm

桜井良蔵→三木種之助。

資料番号：250

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/36-4「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.3×横157.4cm

桜井良蔵→三木慎三郎。

資料番号：251

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/36-5「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.5×横162.9cm

桜井良蔵→三木種之助。

資料番号：252

資料名：「近況報告」

福崎目録：174頁 H9/戊7/37「近況報告」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.0×横83.5cm

上杉墨水→三木藤作 三木慎三郎。

資料番号：253

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/38-1「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.4×横64.3cm

岡良四郎→三木藤作。

資料番号：254

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/38-2「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.3×横90.5cm

岡→三木。

資料番号：255

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/39「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.5×横66.7cm

中谷順左衛門→三木藤作。

資料番号：256

資料名：「連絡並に通知」

福崎目録：174頁 H9/戊7/40「連絡並に通知」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.5×横61.5cm

寺家町順左衛門→藤作。

資料番号：257

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/41「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.7×横71.9cm

藤屋新十郎→三木旦那。包紙有り。

資料番号：258

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/42「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.1×横57.2cm

いしや和泉屋仁右衛門→三木藤作。

資料番号：259

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/43-1「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.8×横133.6cm

小太郎→大一郎。※資料番号259～263まで包紙一括。

資料番号：260

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/43-2「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.7×横110.8cm

上杉墨水→三木藤作 三木種之助。

資料番号：261

資料名：「画者に対する代料についての相談」

福崎目録：174頁 H9/戊7/43-3「画者に対する代料についての相談」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.5×横91.0cm

上杉梁三→三木藤作 三木種之助。

資料番号：262

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/43-4「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.5×横86.2cm

上杉墨水→三木種之助。

資料番号：263

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/43-5「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.0×横42.2cm

上杉墨水→三木藤作 三木種之助。

資料番号：264

資料名：「口上書 礼状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/44「口上書 礼状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.1×横25.6cm

西川辺唯右衛門→三木藤作。

資料番号：265

資料名：「覚 石碑代等の金銭領収及び両替についての覚」

福崎目録：174頁 H9/戊7/45「覚 石碑代等の金銭領収及び両替についての覚」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.5×横56.8cm

資料番号：266

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/46-1「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.3×横55.8cm

古賀→大島。※資料番号266～270まで包紙一括。

資料番号：267

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/46-2「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.6×横49.5cm

古賀→大嶋。

資料番号：268

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/46-3「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.3×横192.7cm

小太郎→大一郎。封筒入り。

資料番号：269

資料名：「未詳？」

福崎目録：174頁 H9/戊7/46-4

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.6×横164.7cm

資料番号：270

資料名：「開披不能により内容不明」

福崎目録：174頁 H9/戊7/46-5「開披不能により内容不明」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦??×横??cm

大嶋→桜井。

資料番号：271

資料名：「書状」

福崎目録：174頁 H9/戊7/46-6「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.1×横181.7cm

古賀大一郎→大嶋萬兵衛。

資料番号：272

資料名：「畑林譲渡証文之事」

福崎目録：174頁 H9/戊8/1-1「畑林譲渡証文之事」

書誌情報：書状1枚、絵図1枚 外形寸法：（書）縦27.3×横40.0cm（図）縦30.9×横45.8cm

藤四郎他二名→三木寿三郎。

資料番号：273

資料名：「井之口裏に八幡講の講替の絵図を堀米氏に貸す」

福崎目録：174頁 H9/戊8/1-2「井之口裏に八幡講の講替の絵図を堀米氏に貸す」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.3×横11.6cm

資料番号：274

資料名：「林復斎七言詩」

福崎目録：174頁 H9/戊8/2「丙午元旦」と題する七言絶句」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.8×横41.8cm

林復斎（林煊）の「丙午元旦」と題する七言詩。林家の林述斎の6男。末尾に「林煊」とある。

資料番号：275

資料名：「林檎宇七言詩」

福崎目録：174頁 H9/戊8/3「丙午元日」と題する七言絶句」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.8×横42.0cm

林檎宇（林銑）の「丙午元日」と題する七言詩。林銑（林檎宇）は、林家の林述斎の3男であり、林復斎の兄。末尾に「大學頭林銑」とある。

資料番号：276

資料名：「和歌集」

福崎目録：174頁 H9/戊8/4「和歌集」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.7×横42.3cm

通深。十九日夜五月雨晴。

資料番号：277

資料名：「船株争いについての「歎書」」

福崎目録：174頁 H9/戊9/1「船株争いについての「歎書」」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.2×横24.5cm

内藤佐十郎他五名。天保八年。

資料番号：278

資料名：「御札受取依頼」

福崎目録：174頁 H9/戊10/1「御札受取依頼」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.7×横32.1cm

角田省三郎→三木種之助。

資料番号：279

資料名：「書簡断簡」

福崎目録：175頁 H9/戊10/2「書簡断簡」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.6×横19.1cm

良山堂→簗。

資料番号：280

資料名：「書状」

福崎目録：175頁 H9/戊10/3「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.5×横40.4cm

良山堂→簗山。

資料番号：281

資料名：「書状」

福崎目録：175頁 H9/戊10/4「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.5×横50.6cm

一棹→笠峰志兄。

資料番号：282

資料名：「書簡断簡」

福崎目録：175頁 H9/戊10/5「書簡断簡」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.5×横20.0cm

資料番号：283

資料名：「書簡断簡」

福崎目録：175頁 H9/戊10/6「書簡断簡」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.5×横25.0cm

資料番号：284

資料名：「書状」

福崎目録：175頁 H9/戊10/7「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.1×横110.2cm

？→三木慎三郎。

資料番号：285

資料名：「未詳？」

福崎目録：175頁 H9/戊10/8

書誌情報：1枚 外形寸法：縦22.1×横28.6cm

華府并河復一→三木種之助。

資料番号：286

資料名：「書状」

福崎目録：175頁 H9/戊10/9「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.9×横53.4cm

井河復一→三木種之助。

資料番号：287

資料名：「未詳？」

福崎目録：175頁 H9/戊10/10

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.1×横12.6cm

望論兄→

資料番号：288

資料名：「書状」

福崎目録：175頁 H9/戊10/11「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.2×横41.7cm

後藤春蔵→三木慎三郎。

資料番号：289

資料名：「書状」

福崎目録：175頁 H9/戊10/12「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.4×横61.0cm

絹衛→笠山。

資料番号：290

資料名：「書状」

福崎目録：175頁 H9/戊10/13「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.3×横38.5cm

三郎→種之助。

資料番号：291

資料名：「書状」

福崎目録：175頁 H9/戊10/14「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.9×横30.9cm

茁→三木老君。

資料番号：292

資料名：「未詳？」

福崎目録：175頁 H9/戊10/15

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.9×横30.3cm

三木種之助。

資料番号：293

資料名：「書状」

福崎目録：175頁 H9/戊10/16「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.5×横65.8cm

後藤→簗山。嘉□・十七。

資料番号：294

資料名：「別紙について」

福崎目録：175頁 H9/戊10/17「別紙について」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.7×横13.2cm

良蔵→慎三郎。

資料番号：295

資料名：「書状」

福崎目録：175頁 H9/戊10/18「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦14.2×横38.6cm

正□新蔵→三木慎三郎。

資料番号：296

資料名：「書状」

福崎目録：175頁 H9/戊10/19「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.8×横36.2cm

角田省三郎→三木種之助。

資料番号：297

資料名：「書状」

福崎目録：175頁 H9/戊10/20「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.3×横29.0cm

俣邊→笠峯。

資料番号：298

資料名：「舌」

福崎目録：175頁 H9/戊10/21「舌」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.7×横24.8cm

下田重次郎→三木慎三郎。

資料番号：299

資料名：「新年のあいさつ状」

福崎目録：175頁 H9/戊10/22「新年のあいさつ状」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦17.7×横47.5cm

桜井良蔵 桜井一郎→三木慎三郎。

資料番号：300

資料名：「病氣見舞の礼状」

福崎目録：175頁 H9/戊10/23「病氣見舞の礼状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.7×横39.5cm

良蔵→慎三郎。

資料番号：301

資料名：「書状」

福崎目録：175頁 H9/戊10/24「書状」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦17.1×横55.5cm

股野口→三木慎三郎。

資料番号：302

資料名：「返報」

福崎目録：175頁 H9/戊10/25「返報」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.0×横24.2cm

秋元三郎兵衛→三木慎三郎。

資料番号：303

資料名：「自作和歌の評価について」

福崎目録：175頁 H9/戊10/26「自作和歌の評価について」

書誌情報：2枚 外形寸法：①縦15.1×横77.5cm ②縦15.2×横69.5cm

?→慎三郎。

資料番号：304

資料名：「通深作の和歌六首書上」

福崎目録：175頁 H9/戊10/27「通深作の和歌六首書上」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.6×横42.2cm

資料番号：305

資料名：「通深作の漢詩及び和歌書上」

福崎目録：175頁 H9/戊10/28「通深作の漢詩及び和歌書上」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.5×横42.2cm

資料番号：306

資料名：「男尚之恐惶口首口首謹奉表」

福崎目録：175頁 H9/戊10/29「男尚之恐惶口首口首謹奉表」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦24.5×横307.0cm

包紙あり。

資料番号：307

資料名：「書状断簡」

福崎目録：175頁 H9/戊10/30「書状断簡」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.0×横23.1cm

三木口作→三木種之助。

資料番号：308

資料名：「和歌三〇首書上」

福崎目録：175頁 H9/戊10/31「和歌三〇首書上」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.3×横126.5cm

資料番号：309

資料名：「小倉百人一首写」

福崎目録：175頁 H9/戊11/1「小倉百人一首写」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦32.0×横22.0cm

三木尚之。寛政十二年。

資料番号：310

資料名：「三木通明宛中井蕉園書簡（十二月朔日）」

福崎目録：182頁 H9/D1/L-1「鹿肉の礼」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦19.1×横62.2cm

通明からの書簡への返信。鹿肉に対する礼を述べる。「原氏に御寄宿之旨、随分御出稽可成候」と述べており、加東郡河高村原文四郎のもと通明が通っていた頃、すなわち、通明が懷徳堂を去った寛政七年以降の書簡と推定される。蕉園は、「詩などは如何、もはやソロソロ出来可申候。素読は御仕舞被成候也。何文御力学奉祈候」と、通明を励まし、勉学の進歩を促している。

資料番号：311

資料名：「三木通明宛中井蕉園書簡（二月三日）」

福崎目録：182頁 H9/D1/L-2「令室凶変、去二三日東作俄に帰宅の望留める」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦19.5×横82.3cm

寛政七年二月、通庸の後妻であり、通明の養母であった貞が亡くなったときのものと推定される。通明が、前年冬に帰国しようとしたが、春以降ゆっくり帰省すればよいと差し止めたことについて述べ、通明が母と面会する機会を逸したことを悔い、通明を十分慰めるよう、配慮を求めている。なお、貞及び幼年期の通明については、『福崎町史』第二巻（福崎町史編集専門委員会、一九九五年、一四九～一五二頁）を参照。

資料番号：312

資料名：「三木通明宛中井蕉園書簡（十二月十七日）」

福崎目録：182頁 H9/D1/L-3「鹿肉の礼」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.5×横38.0cm

通明からの手紙への返信。鹿肉一桶分を贈られたことに対し、礼を述べている。

資料番号：313

資料名：「三木通明宛田中純二・中井碩果・中井蕉園書簡（十二月十五日）」

福崎目録：182頁 H9/D1/L-4「鹿肉一桶礼」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.0×横45.5cm

通明書簡への返信。鹿肉一桶分を贈られたことへの礼を述べる。「肉甚鮮ニ御座候。別而賞味仕候」と肉が美味であることに言及する。「龍野御寄宿之由、何卒御懈怠御力学下被奉祈候」とあることから、通明が龍野に遊学していた時期、すなわち、通明が、股野玉川に学んだ寛政八年から十年頃のものとして推定される。また、「親父様」すなわち通庸にもよろしく伝えて欲しい旨を記している。

資料番号：314

資料名：「三木通明宛中井蕉園書簡（四月六日）」

福崎目録：182頁 H9/D1/L-5「龍野へ老父と同行姫路に立寄り一通差出す」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦19.5×横26.3cm

父竹山らと龍野へ旅行し、龍野には七八日逗留する旨を伝えている。「かねて御約束とハ御座候へ共、此度ハ辻川辺へ参り候事ハ出来不申候」、「御宅へ参上之儀ハ決而出来不申残念至極候」と述べ、近隣の地まで来ながら、辻川の通明宅を訪問できない事情について、繰り返し説明している。この日、姫路を通るので、一書を認めたとある。

資料番号：315

資料名：「三木通明宛中井蕉園書簡（二月廿七日）」

福崎目録：182頁 H9/D1/L-6「凶変驚入」

書誌情報：2枚 外形寸法：①縦15.3×横44.3cm（二つ折り）②縦16.2×横42.5cm

母貞が死去した後、辻川の実家で喪に服している通庸に宛てた手紙。同じ日付のものが二通残る。長文の書状においては、通明の体調を気にかけた後、「帰省ヲ指留候事、只今ニ而は甚悔申候。足下一生涯之御残念、無此上事奉察候」と、蕉園らが通明の帰省を思いとどまらせたことが、かえって母と対面する機会を失わせてしまったことを詫び、そのうえで体調急変などのことは予測することができず、こうなってしまった以上は、「喪中無恙御追孝専一可出来候」、すなわち、十分に喪に服することが母のためにできることであると説いている。短文のものには、「不存寄御凶変驚入、絶言語候。足下御帰郷不及事候由、別而御愁傷奉察候」と突然の訃報への驚きと通明への同情が記されている。

資料番号：316

資料名：「三木通庸宛中井竹山書簡（三月十四日）」

福崎目録：182頁 H9/D1/L-7「先般ハ令郎遊学入門承知」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦18.0×横48.7cm

三木通明が、竹山に入門した時の書簡。通明の入門を認める旨、連絡するほか、「御庭訓之程、得感心候」と三木家での教育ぶりを褒めている。

資料番号：317

資料名：「三木通庸宛中井竹山書簡（二月三日）」

福崎目録：182頁 H9/D1/L-8「令室病悩」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.0×横57.5cm

三木通庸の妻貞が大病となったことを知らされ、竹山のもとで学んでいた通明を急ぎ郷里に向かい出発させた旨を伝える書簡。貞について「去歳御産後御病悩之处、此節御大疾に被成御座候由、奉驚候」と記し、体調の急変に驚いた旨を述べている。旅装が整い次第、その日

のうちに通明を出発させるという文面から、当日の慌ただしさがうかがえる。

資料番号：318

資料名：「三木通庸宛中井竹山書簡（正月廿八日）」

福崎目録：182頁 H9/D1/L-9「令郎於此地初而之口越年」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦18.0×横48.0cm

新年の挨拶を述べる。自身が無事であること、通明が大阪で無事年を越したことを述べ、安心するよう述べている。通明は、寛政七年までの四年間、懷徳堂で学んでおり、この間の書簡と推定される。

資料番号：319

資料名：「三木通明宛俣野嘉善・才助書簡」

福崎目録：182頁 H9/D1/L-10-1「手作ノ竿一卷の礼」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦15.0×横44.2cm

余寒が残ること、三木家、俣野家ともに家人が健康無事であることを喜んだ後、芋一苞を恵与されたことへの礼を述べる。

資料番号：320

資料名：「三木通明宛俣野嘉善書簡（二月十日）」

福崎目録：182頁 H9/D1/L-10-2「嘉善来月初旬ニハ出府」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦16.5×横44.7cm

通明書簡への返信。自分たち二人が、ともに無事であること、通明への礼、久しく面会する機会がないこと、嘉善が三月初旬に「出府」することなどを述べる。

資料番号：321

資料名：「三木通庸俣野嘉善書簡（二月十五日）」

福崎目録：182頁 H9/D1/L-10-3「東作引取りの要請 老母への贈物礼」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.4×横32.3cm

通庸書簡への返信。無事に年始めを迎えたことを喜ぶ。通庸（東作）引取の要請に対し、承知したことを述べる。通庸が、才助の母へ好物を贈ったことに対し、礼を述べている。

資料番号：322

資料名：「三木通明俣野嘉善書簡（二月十五日）」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-10-4「老人への心入の品札」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦15.7×横45.2cm

通明が来訪したことを喜ぶとともに、「乍去早々之御戻遺憾不少候」と記している。「御賀父様」からの手紙及び「老人え御心入之品」をもらったことに対し、礼を述べる。

資料番号：323

資料名：「三木通明宛原文四郎書簡（四月廿五日）」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-11「此間中吉田細田辺滞留来月中旬前貴家へ持参の心当」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦14.8×横51.5cm

三木通明が原文四郎から貸与していた蓑の返却を求める等の内容である。

資料番号：324

資料名：「三木通明宛原文四郎書簡（臘廿八日〈十二月二十八日〉）」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-12「塩鯛一籠の礼」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦15.7×横44.4cm

原文四郎に三木通明より贈与された塩鯛一籠への礼状を内容とする。

資料番号：325

資料名：「三木通明宛原文四郎書簡（七月十日）」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-13「素麺席料恵投礼」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦15.6×横43.6cm

原文四郎に三木通明より恵投のあった素麺并席料への礼状を内容とする。

資料番号：326

資料名：「三木通明中井蕉園書簡（十一月十日）」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-14「荊妻下世について弔慰礼、見舞として茶六袋の礼」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦18.5×横48.7cm

中井蕉園の妻が死去した際の三木通明よりの弔慰に対する返礼。「家内一同残念存候事御座候。愁嘆之程御察可被下候」という条りから、失意の様子がうかがえる。見舞いとして茶六袋が、三木家より贈られており、それに対する礼も記されている。

資料番号：327

資料名：「三木通明宛俣野嘉善書簡（正月晦日）」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-15「佳筆二握恵投の礼」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦15.6×横44.3cm

俣野嘉善に三木通明より恵投のあった佳筆二握に対する礼状を内容とする。

資料番号：328

資料名：「三木通明宛原文四郎書簡（臘念六〈十二月二十六日〉）」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-16「二封并郷肴恵投札」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.7×横20.1cm

原文四郎に三木通明より歳末に恵与された二封ならびに肴に対する礼状を内容とする。

資料番号：329

資料名：「三木通明宛原文四郎書簡（十月十八日）」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-17「雕題略るい入用のところ持参札」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦14.8×横40.8cm

三木通明が原文四郎に所望した「雕題略るい」（左氏雕題略）を貸与したとする内容。なお、H9/D1/L-19書簡では、その返却を要求している。

資料番号：330

資料名：「三木甚右衛門宛大井願極書簡（十月廿日）」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-18「御用公私の務ハ忍の一字」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.5×横36.3cm

三木甚右衛門の来訪に感謝し、また公私御用の務めは忍の一字であるとの警句等の内容を含む。

資料番号：331

資料名：「三木通明宛原文四郎書簡（九月晦〈九月晦日〉）」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-19「先遠遣置候左氏雕題略一卷返して欲しい」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦14.9×横52.6cm

原文四郎が三木通明に貸与した左氏雕題略一卷について返却を要求する内容。なお、H9/D1/L-17書簡は、左氏雕題略を貸与したとする内容である。

資料番号：332

資料名：「三木甚右衛門宛山邊内記書簡（二月十三日）」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-20「三月には出京の趣待居る」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦16.5×横46.3cm

山邊内記が三木甚右衛門より「見事之花箋」を恵与されたことに対する謝辞や三月に予定されている甚右衛門の出京の話題等を内容とする。

資料番号：333

資料名：「小島習庵宛綱齊書簡（正月晦日）」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-21「聖学講義熟読之由」

書誌情報：1枚（二つ折り）外形寸法：縦16.1×横44.1cm

小島習庵が聖学講義を熟読したこと、また新年の儀礼次第（扇子一箭投入のこと）に関する内容等を収める。

資料番号：334

資料名：「漢詩（三木通深写、仲冬念二）」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-22「漢詩」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦33.2×横45.7cm

末尾に「門人尚之（通深）写」、「仲冬念二」とある。五言詩と思われる。

資料番号：335

資料名：「漢詩」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-23「漢詩」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦32.0×横18.5cm

「雲郷〜」。全28字。七言詩と思われる。

資料番号：336

資料名：「人事偶成」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-24「人事偶成」

書誌情報：1枚 外形寸法：縦18.8×横16.7cm

末尾に「右人事偶成」とある。1行7字で、4行28字を備える。七言詩か。

資料番号：337

資料名：「包紙のみ（書簡なし）」

福崎目録：183頁 H9/D1/L-25「包紙のみ（書簡なし）」

書誌情報：包紙1枚 外形寸法：縦24.0×横32.6cm

中井深翁（竹山）・中井瀨蔵（蕉園）から三木通明宛。ただし、包紙のみで、書簡は存せず。

資料番号：338

資料名：「古賀侗庵書・中井竹山書・諸家書画卷」※箱書きには、「侗莽草書七絶、半江翁
靈根墨竹、春琴翁淺絳山水」とあるが、「侗莽翁草書七絶」以外の二つは内容物
と一致せず。

福崎目録：仮番号P1

①古賀侗庵書

作品情報：1幅 外形寸法：縦132.0×横27.5cm

全28字。七言詩と思われる。落款四つ。

末尾に、「侗莽」の名が記される。

②中井竹山書

作品情報：1幅 外形寸法：縦110.3×横27.1cm

「懷徳堂印」・「積善印記」の二つの落款あり。裏面に「中井竹山」の四字が記される。表面の詩文は全50字。末尾に「季冬積善書」と記される。

内容は以下の通り。

「有弗學學之弗能弗措也有弗問問之」（一行目）

「弗知弗措也有弗思々之弗得弗措也」（二行目）

「有弗辨々之弗明弗措也有行々」（三行目）

「之弗篤弗措也 季冬積善書」（四行目）

③「諸家書画卷」※「侗莽七絶・半江墨竹・春琴山水」の箱に仮に収められている画卷（詳細下記）。

作品情報：卷子1巻17枚、紙本墨書・紙本墨画淡彩、22.6×23.5cm

箱蓋表に「侗莽翁草書七絶／半江翁雲根墨竹／春琴翁淺絳山水」と記し、箱蓋裏に「天保十三年歲次壬寅葭月／觀生堂藏」と記す桐箱の存在から、天保13年（1842）に觀生堂（本草学者の水野皓山〔1777-1846〕か）が、古賀侗莽「草書七絶」、岡田半江「雲根墨竹」、浦上春琴「淺絳山水」の三幅対を所蔵していたことが分かる。しかし現在三木家が所蔵するこの桐箱には、三幅対のうち侗莽の書幅が残るだけで、他には、中井竹山の書幅一幅と本項の「諸家書画卷」が収められている。これらは箱と寸法の異なる表装であり、空きスペースのできたこの桐箱に臨時に収めたものであろう。

「諸家書画卷」は17面の書画を卷子にしたもので、鑑識に問題が残るが、江戸で活躍した儒者、画人などの書画が多い。内容は以下の通り。1「題（百衲琴）」巻菱湖（1767-1843）筆、款記「菱湖老人」。2「書（七言絶句）」古賀侗莽（1788-1847）筆、款記「侗莽煜」。3「亀」大西椿年（1792-1851）筆、款記「椿年」。4「山水」五十嵐竹沙（1774-1844）筆、款記「竹沙」。5「山水」谷文晁（1763-1841）筆、款記「文晁」。6「岩」作者不詳、款記「醉夢」。7「梅」菊池容斎（1788-1878）筆、款記「容斎」。8「瓶花（蘭）」作者不詳、款記「煙沙」。9「雪に椿」鈴木其一（1796-1858）筆、款記「噲々其一」。10「書（七言律詩）」吉村白齋（1854-1908）筆、款記「白齋散人興」。11「月に蝙蝠」作者不詳、款記「■莆筆」。12「書（七言絶句）」萩原秋巖（1803-1877）筆、款記「王惲題袁安臥雪圖詩／秋巖萩原翬書」。13「鍾馗」長谷川雪旦（1778-1843）筆、款記「長谷川法橋雪旦筆」。14「巫女」北爪有卿（?-1888）

筆、款記「有卿」。15「書（七言絶句）」作者不詳、款記「竹雪道人」。16「山水」長谷川雪堤（1819-1882）筆、款記「長谷川雪堤」。17「題（七言絶句）」中澤雪城（1810-1866）筆、款記「題画／雪城居士」。

資料番号：339

資料名：「中井竹山書『穀雨』」

福崎目録：不明。仮番号P 2

書誌情報：7帖 外形寸法：縦31.5×横25.8cm

箱書に「穀雨」とある。

- | | | |
|------------|--------|-------------------------|
| （第一）竹山先生書一 | 節序 | 一行四字、30枚。 |
| （第二）竹山先生書二 | 周易六十四卦 | 一行四字、24枚。（ただし、最後の一枚は三字） |
| （第三）竹山先生書三 | 地理寶金 | 一行四字、33枚。 |
| （第四）竹山先生書四 | 居處 | 一行四字、18枚。 |
| （第五）竹山先生書五 | 人物 | 一行四字、34枚 |
| （第六）竹山先生書六 | 身體衣服 | 一行四字、27枚 |
| （第七）竹山先生書七 | 唐詩五絶 終 | 四行二十字、54枚 |
-

資料番号：340

資料名：「中井竹山八橋故址詩軸」

福崎目録：不明。仮番号P 3

作品情報：1幅 外形寸法：縦107.5×横35.2cm

中井竹山の七言詩。箱書きには、「中井竹山八橋故址詩」とあり、軸裏には、「竹山中井八橋故址詩三木深珍賞」とある。「井渌不食為我心惻」・「積善印記」・「竹山居士」の落款あり。詩文部分は、計28字。末尾に「右八橋故址 渌翁」とあり、『伊勢物語』第九段の「三河の国、八橋といふ所にいたりぬ」をふまえたものと思われる。

- （一行目、12字）「王孫陳迹欲尋難杜若洲荒蛛」
（二行目、12字）「水乾唱起客衣歌一関于今遊」
（三行目、11字）「子泣加餐 右八橋故址 渌翁」
-

資料番号：341

資料名：「中井仙坡五言詩軸」

福崎目録：不明。仮番号P 4

作品情報：1幅 外形寸法：縦85.7×横29.4cm

中井仙坡（蕉園）の五言詩。箱書きに「中井仙坡先生の書」とある。

全20字。「曾弘之印」・「吳海漁隱」の二つの落款がみえる。後者は『懷徳堂印存』にも同

じ印がある。

「紅峯占詩歸春來已」(一行目)

「幾日笑殺東家翁昨」(二行目)

「試遊春筆」(三行目)

資料番号：342

資料名：「中林竹洞筆 春秋山水図」

福崎目録：不明。仮番号 P 5

作品情報：掛幅 2 幅、絹本着色、各 131.2×41.9cm、天保9年（1838）

中林竹洞（1776-1853）は尾張出身で、京に出て活躍した江戸時代後期の文人画家。『画道金剛杵』などの画論を残す理論派でもある。当該資料は春景、秋景を一幅ずつに描いて双幅をなしたもので、款記には、天保9年（1838）、元末四大家の一人・黄公望の画法を倣って萬山草堂で描いたとする。竹洞が得意とした、小さな岩のブロックを画面下から上へジグザグに積み重ねていく構図をとる。※詳しくは、奥平俊六・赤木美智・吉井奈津江「大庄屋三木家の絵画」（『懷徳堂センター報』2007）及び、高島藍・湯城吉信「三木家絵画に見る江戸時代の文人世界—三木家所蔵画幅画賛釈文—」（『懷徳堂センター報』2008）を参照のこと。

資料番号：343

資料名：「中林竹洞筆 萬山艸堂圖（書幅）」

福崎目録：不明。仮番号 P 6

作品情報：掛幅 1 幅、絹本墨書、109.5×27.0cm、弘化

中林竹洞については前項「春秋山水図」参照。弘化2年（1845）に書かれ、「萬山艸堂圖」と題された本書幅は、竹洞が自分の書齋について、李公麟の龍眠山莊図、王維の輞川図を例に、胸中にあるわが「萬山艸堂」をあえて「萬山艸堂図」の形で描かないことの感慨を書いている。※詳しくは、奥平俊六・赤木美智・吉井奈津江「大庄屋三木家の絵画」（『懷徳堂センター報』2007）及び、高島藍・湯城吉信「三木家絵画に見る江戸時代の文人世界—三木家所蔵画幅画賛釈文—」（『懷徳堂センター報』2008）を参照のこと。

資料番号：344

資料名：「島琴陵筆 鶴図」

福崎目録：不明。仮番号 P 7

作品情報：掛幅 3 幅対、絹本着色、各 99.3×35.7cm

島琴陵（1782-1862）は、沈南蘋の画風を学んで花鳥画を得意とした画人。南部藩を脱藩し、長崎で画を学んで、のちに姫路藩に招かれたとされる。播州と関係が深く、天保2年（1831）から同8年までの6年間、複数回三木家に滞在して第6代通明（1782-1844）とその子通深（第7

代／1824-1857)に画法を教えている。『後素雑費籍』(『福崎町史第4巻資料編Ⅱ』所収)には、琴陵の三木家滞在時の動向や謝金・画材などの諸経費が詳細に書き留められている。本項の3幅対は、同記録中にある琴陵の作品「絹地ニ極色靄之画 三幅対／右紅梅ニ靄 中朝日ニ靄 左松ニ靄」に相当するものと考えられる。これは、琴陵が天保5年(1834)5月19日から6月6日まで三木家に滞在した際に、通明が琴陵本人から200疋で直接購入したものである。※『福崎町史第2巻本文編Ⅱ』(兵庫県福崎町、1995)、『福崎町史第4巻資料編Ⅱ』(兵庫県福崎町、1991)、奥平俊六・赤木美智・吉井奈津江「大庄屋三木家の絵画」(『懷徳堂センター報』2007)、高島藍・湯城吉信「三木家絵画に見る江戸時代の文人世界―三木家所蔵画幅画賛釈文―」(『懷徳堂センター報』2008)を参照のこと。

資料番号：345

資料名：「(作者不詳)神農・陶弘景・董奉図(林鷺峰賛)」

福崎目録：不明。仮番号P 8

作品情報：幅3幅対、紙本墨画淡彩、各93.6×37.2cm

医薬、医学に関わる3者(神農・陶弘景・董奉)を描く。各幅上方の賛者「向陽子」は、大学頭・林鷺峰(1618-1680)で、画家は17世紀の江戸狩野の有力な絵師と考えられる。

本3幅対には、表書に「董奉／陶弘景／神農／鑑定書」と記された次のような鑑定書1通が付属している。「神農董奉陶弘景三幅対拝見仕候／向陽子賛真跡無疑／畫之印面能覚不之候得共至極上手御座候／御諸蔵之座頭羨也候／雪城隠士／相観(花押)／三木様」。

※詳しくは、奥平俊六・赤木美智・吉井奈津江「大庄屋三木家の絵画」(『懷徳堂センター報』2007)及び、高島藍・湯城吉信「三木家絵画に見る江戸時代の文人世界―三木家所蔵画幅画賛釈文―」(『懷徳堂センター報』2008)を参照のこと。

資料番号：346

資料名：「田能村竹田筆 草虫図(篠崎小竹賛)」

福崎目録：不明。仮番号P 9

作品情報：掛幅1幅、紙本墨画淡彩、126.0×27.2cm、着賛：嘉永3年(1850)

田能村竹田(1777-1835)は、豊後竹田の藩医の家系に生まれ、関西で活躍した江戸時代後期の文人画家。一枝に虫がとまる様を描いた草虫図をなし、竹田の自賛とその友人で大坂の儒者であった篠崎小竹(1781-1851)の賛を伴う。画面右下に三木家の所蔵印を一顆捺す。※詳しくは、奥平俊六・赤木美智・吉井奈津江「大庄屋三木家の絵画」(『懷徳堂センター報』2007)及び、高島藍・湯城吉信「三木家絵画に見る江戸時代の文人世界―三木家所蔵画幅画賛釈文―」(『懷徳堂センター報』2008)を参照のこと。

資料番号：347

資料名：「岡田米山人筆 君子一笑図」

福崎目録：不明。仮番号P 10

作品情報：掛幅1幅、紙本墨画、127.0×60.4cm、文化13年(1816)

岡田米山人（1744-1820）は、江戸時代後期に大坂で活躍した文人画家で、藤堂藩の大坂蔵屋敷に仕え、隠居後に画風が昂揚する。木村兼葭堂、浦上玉堂、田能村竹田らと親交があった。最晩年に近い本図は、米山人らしい筆致で太湖石と竹を描き、真正面を向き、戯画的で愛嬌ある表情をたたえた犬を取り合わせた吉祥画題である。米山人の自賛を伴う。※詳しくは、奥平俊六・赤木美智・吉井奈津江「大庄屋三木家の絵画」（『懷徳堂センター報』2007）及び、高島藍・湯城吉信「三木家絵画に見る江戸時代の文人世界—三木家所蔵画幅画賛釈文—」（『懷徳堂センター報』2008）を参照のこと。

資料番号：348

資料名：「田能村竹田筆 疎林平遠図（篠崎小竹賛）」

福崎目録：不明。仮番号P 1 1

作品情報：掛幅1幅、二重箱、紙本墨画、110.0×26.3cm

田能村竹田については前掲「草虫図（篠崎小竹賛）」参照。本図は、細い樹木と擦筆による山や岩を簡潔に画面に布置した竹田らしい山水小景の一作。竹田の自賛と友人・篠崎小竹の賛を伴い、画面右下に三木家の所蔵印を一顆捺す。※詳しくは、奥平俊六・赤木美智・吉井奈津江「大庄屋三木家の絵画」（『懷徳堂センター報』2007）及び、高島藍・湯城吉信「三木家絵画に見る江戸時代の文人世界—三木家所蔵画幅画賛釈文—」（『懷徳堂センター報』2008）を参照のこと。

資料番号：349

資料名：「橋本関雪筆 峽中所見図」

福崎目録：不明。仮番号P 1 2

作品情報：掛幅1幅、二重箱、絹本墨画着色、129.5×41.0cm

橋本関雪（1883-1945）は、旧明石藩儒の橋本海関の息子として神戸の坂本村（現在神戸市中央区）に生まれ、最初、画を片岡公曠に学び、京都で竹内栖鳳に師事した。後年、帝室技芸員、帝国美術院会員となる。大正2年（1913）に初めて中国旅行して以来、たびたび訪中して中国に取材した作品を発表した。本図も中国での実見に基づき、自作の七言絶句「樹勢將飛颯帶風／江聲捲雲頭撲空／篙師懼盜兼懼虎／白日泊舟高浪中」に「三木仁兄雅正／関雪散人寫峽中所見并題」と款記して白文長方印「関雪」、関防に朱文長方印「隱名放言」、右下に朱文橢圓印「煙霞供養」を捺す。関雪は地元である播州で度々、頒布会を開き、加古川の但陽信用金庫が多数の作品を所蔵するが、そのコレクションに、大正14年頃の制作と推定され、本図と同様のモチーフに同じ七言絶句を着賛した「秋峽飛帆図」がある。三木家当主（第9代当主三木通精〔1873-1961〕か）への為書きのある本図も同時期の制作と推定される。※なおタイトルの「峽中所見図」は款記に依拠した調査者による仮題。

資料番号：350

資料名：「神崎十勝書画卷」

福崎目録：不明。仮番号P 1 3

作品情報：卷子1巻、箱・帙入、紙本墨画淡彩、25.3×918.1cm、明治19年（1886）

兵庫県神崎郡の名勝、笠形山や七種の滝、妙徳寺（神積寺）など十勝について、その景を描き賛を寄せた書画卷。題は藤原隨資（明治19年に従二位）、賛は京都の儒家・林雙橋と当時の神崎郡郡長・倉本雄三が書く。画は同郡職員を務め、三木家とも親交のあった郷土の画家・藤本煙津（1838-1926）によるが、一部「耕雲」なる画家も描いている。林雙橋の跋に続き、私塾立命館などで講師をした神山鳳陽の跋、さらに元姫路の藩儒で私塾久敬舎（のち観海講堂）を建てた亀山雲平（1822-1899）の跋がある。

資料番号：351

資料名：「（作者不詳）能の図（蘆刈）」

福崎目録：不明。仮番号P 1 4

作品情報：掛幅1幅、絹本墨画着色、36.8×43.5cm、嘉永元年（1848）

本図は、和歌一首「そのひとの／なをとひまとふ／みつの濱／あはれ一柴の／あしにそしられ」を書し、笠を被り蘆のようなものを持った芸能者と見られる人物を描く。それら和歌、人物とその持ち物から連想されるのは、「みつの濱」（難波の浦）を舞台とし、貧しさゆえに別れた夫婦が再会し和歌を通じて復縁するという内容の謡曲「蘆刈」である。ちなみに謡曲では、夫は蘆売りとして登場し笠の舞を披露する。「嘉永元戊申於霞松堂／雅蔭寫」と書し、朱文長方印「霞松堂」を捺す。画家「雅蔭」、和歌右下の「宥源」については未詳。なお、本図が収められている桐箱は、箱蓋表に「紅梅黄鳥」と記し、箱蓋裏には「柳畝自題」と記して朱文方印「柳畝」を捺す。もともと本図の箱ではなく、別の作品の箱を代用したものである。※奥平俊六・赤木美智・吉井奈津江「大庄屋三木家の絵画」（『懷徳堂センター報』2007）4頁では、三木雅蔭を三木家縁者とする。

資料番号：352

資料名：「三木通深筆 山水図」

福崎目録：不明。仮番号P 1 5

作品情報：掛幅1幅、紙本墨画淡彩、129.8×28.2cm

三木家当主が描いた山水画の画面に、作品の批評を記したもの。完成作品ではなく、いわば練習作を添削したものであり、通信教育による絵画指導のあり方をうかがわせる珍しい資料。

「先君臺山之画／先君者浦上春琴門人／則画断春琴先生画品」とある外題の「先君臺山」は三木家第7代当主の通深（1824-1857／号は笠峰、■【竹冠に臺】山など）のことで、外題を書いたのは第8代当主の通済（1848-1901）であろう。また外題は、画面右上に書き加えられた講評「主山重覆／疎密濃淡／欠妥點景／亦人物稍過大」の評者が、通深の師事した浦上春琴（1779-1846）であることを暗示する。通深は、天保2年（1831）から同8年までの6年間、島琴陵を家に招いて父通明とともに画法を学び、天保9年（1838）9月には、姫路に浦上春琴を訪ねて入門して教えを受けるようになった（『福崎町史第4巻資料編Ⅱ』所収『後素雜費籍』参照）。今日三木家に伝存する春琴筆通深宛書簡には、通深の提出した作品に講評を付けて返却する内容も見られる。次項の資料番号353（仮番号P16）は類作。天保9年5月には、資料番号358（仮番号P21）山水図（模伊孚九）を描いている。※画面右上の評者について、その

書体を浦上春琴筆三木通深宛書簡における春琴の書体との比較する必要がある。書簡翻刻（通明宛1通、通深宛5通）を掲載する『福崎町史第4巻資料編Ⅱ』（兵庫県福崎町、1991）も参照のこと。

資料番号：353

資料名：「三木通深筆 山水図」

福崎目録：不明。仮番号P16

作品情報：掛幅1幅、紙本墨画淡彩、129.8×28.4cm

前項資料番号352（仮番号P15）の類作。前項同様、外題には「先君臺山之画／先君者浦上春琴門人／則画断春琴先生画^四」とあり、本図は三木家第7代当主・通深筆と考えられる。画面右上の講評「位置局面穏妥／若論病則在渲染設色之間／若浅絳山水中用重緑最宜／極淡動入俗風」には、文字の上部に好評価を得た印「◎（二重丸）」が見られる。また外題は、この評者が浦上春琴であることを暗示する。通深については前項参照。

資料番号：354

資料名：「諸家書画帖（17枚）」

福崎目録：不明。仮番号P17

書誌情報：1冊17枚、帙入、紙本墨書・紙本墨画着色、23.9×33.0cm

関西の書家、画家を中心とした計17枚からなる書画帖。内容は以下の通り。1「題（菟料）」、作者不詳、款記「海湧」。2「豊干」、小野周文筆、款記「周文」。3「小禽」横山春溪（1898-1979）筆、款記「春溪」。4「山水」作者不詳、款記「新林探奇／甲寅初夏寫／竹堂生」。5「山水」中島樸僊（1854-?）筆、款記「樸僊」。6「漁師」作者不詳、款記「南滄」。7「梅に燕」作者不詳、款記「湖城」。8「寿老人」作者不詳、款記「直僊筆」。9「双馬」高倉観崖（1884-1962）筆、款記「観崖寫」。10「秋景山水」、片山桃州筆、款記「桃州寫」。11「人物」、柴原魏象（1885-1954）筆、款記「魏象寫」。12「旭日に松」作者不詳、款記「安斎」。13「田家雪景」岡村琴仙（1861-?）筆、款記「琴仙筆」。14「田家春景」、立脇泰山（1886-?）筆、款記「泰山」。15「人物」作者不詳、款記「古様」。16「山水」、坪田豊年筆、款記「豊年」。17「書（観来神愈清）」作者不詳、款記「兼山」。

資料番号：355

資料名：「書画帖（32枚）」

福崎目録：不明。仮番号P18

書誌情報：1冊32枚、絹本墨書・絹本墨画淡彩（3「岩」のみ紙本墨画）、21.0×20.9cm

為書き「為三木子有」（2）「為笠峰神童」（13）や、「三木種童／篤好學／有晩成之志。嘗持此絹需書余／乃為賦一絶書之以還元」（19）という書き入れから、三木家第7代の通深（1824-1857、字子有、通称種之助、号笠峰など）のために作られた書画帖だと考えられる。通深と親密な交際があった桜井家からは3人（東門、石門、石泉）が書を寄せている。

1・2題「袖中山水富／為三木子有書。」、亀井昭陽（1773-1836）筆、款記「昭叟昱」。3「岩」、作者不詳。4「書（五言絶句）」、廣瀬旭莊（1807-1863）筆。5「書（七言絶句）」、樋口避庵（1801-1856）、款記「解庵」。6「書（七言絶句）」、市河遂庵（?-1856）筆、款記「壬寅花月録／遂菴三治」。7「書（七言絶句）」、桜井石泉（1808-1853）筆、款記「石泉山人」。8「三番叟」、作者不詳、款記「春鳳」。9「書（七言絶句）」、篠崎竹陰（1808頃-1858）筆、款記「訥堂」。10「書（書寫婉歌）」、諸葛中如（1804-1840）筆、款記「姫路侍讀東塾諸葛興卿」。11「書（七言律詩）」、作者不詳、款記「■■竹窓」。12「書（七言絶句）」、上杉墨水（安政頃の人）筆、款記「墨水并題」。13「書（七言絶句）」、作者不詳、款記「録後竹應作為笠峰神童／雲■■」。14「書（七言絶句）」、中井碩果（1771-1840）筆、款記「季夏菅公■■日即事、石窩散人」。15「書（五言絶句）」、桜井東門（1776-1856）筆、款記「東門維者」。16「山水」、鳥越烟村（文政・嘉永頃の人）筆、款記「煙邨」。17「書（五言絶句）」、桜井石門（1799-1851）筆、款記「茁」。18「書（七言絶句）」、作者不明、款記「讀午匪紀略／時丁酉晚春／柳橋」。19「書（五言絶句）」、並河華翁（1797-1879）筆、款記「三木種童／篤好學／有晚成之志。嘗持此絹需書余／乃為賦一絶書之以還元。寒泉」。20「山水」、斎藤崎庵（1805-1883）、款記「倣倪高士筆意／崎庵■■人」。21「書（七言絶句）」、新宮凉庭（1787-1854）筆、款記「庚子■■夕出懷／順正主人碩」。22「書（七言絶句）」作者不詳、款記「■■滑士」。23「書（五言絶句）」、作者不詳、款記「龍海」。24「山水」、作者不詳、款記「戊戌秋日／寫於年福」。25「書（七言絶句）」、濱村省三郎筆、款記「荏土任菴濱邨燕白燕録／于文會舍中／戊戌二月廿」。26「書（七言絶句）」、諸葛中如筆、款記「■■中■■春／興卿」。27「書」、作者不詳、款記「但州■■中證／半■■」。28「群亀」、島琴陵（1782-1862）筆、款記「琴陵閑人寫」。29「書（七言絶句）」、作者不詳、款記「■■溪散人」。30「書（七言絶句）」、頼立斎（1803-1863）筆、款記「京寓■■西改事／立斎頼綱」。31「書（題滑川撈銭図■■■■）」、桜井石門（1799-1851）筆、款記「■■茁再門」。32「書（七言絶句）」、篠崎小竹（1781-1851）筆、款記「題滑川■■銭圖／小竹散人」。

資料番号：356

資料名：「谷口藹山筆 画帖（12図）」

福崎目録：不明。仮番号P 1 9

書誌情報：1冊12図、箱入、紙本墨画淡彩、13.6×22.2cm、明治27年（1894）

谷口藹山（1816-1899）は、江戸で谷文晁、高久靄崖に画を、のちに漢籍を大坂の篠崎小竹、大分の広瀬淡窓らに学び、さらに長崎で清人陳逸舟に画を、京都に戻り貫名海屋に書画を学んだ。京都府画学校出仕となり、第3、4回内国勲業博覧会では褒状を受賞。日本南画協会設立に参加した。田能村直入とともに、明治期の京都で活躍した有力な南画家。各図の題は以下の通り。第1図「春江嵐覆」、第2図「春江独釣」、第3図「園林淡月」、第4図「萬里征帆」、第5図「林泉高陰」、第6図「憂山雨霽」、第7図「竹深避暑」、第8図「山壑萬松」、第9図「奇峯古寺」、第10図「横江東来」、第11図「芦花溪笛」、第12図「雪溪仙皴」「甲午秋寫／古十二幀藹山」。第12図の款記「甲午」は、明治27年（1894）、藹山数え年79歳。用印は、白文方印「藹山」、白文連印「藹山」、白文方印「貞」、朱文長方印「間雲」。

資料番号：357

資料名：「画帖（5図）」

福崎目録：不明。仮番号P20

書誌情報：1冊5図、帙入、紙本墨画着色、14.8×19.1cm

中川蘆月（?-1924）やその養子の中川和堂（1880-1943-?）など、近代の大阪画壇の画家を中心とした全5図からなる画帖。各図の画題、画家、款記、印章は以下の通り。第1図「田家春景」中川蘆月筆、款記「蘆月」、朱文橢円印「蘆」。第2図「梅花」雑喉紅朝（1898-?）筆、款記「紅朝」、朱文方印「紅朝」。第3図「山水」中川和堂筆、款記「和堂生寫之」、朱文橢円印「和堂」。第4図「林和靖」植中直斎（1885-1977）筆、款記「直斎」、白文連印「直斎」。第5図「鮎」作者不詳、款記「西邨」、朱文長方印「蘆湖」。

資料番号：358

資料名：「三木通深筆 山水図（模伊孚九）」

福崎目録：H9/D2-1/7（仮番号P21）

作品情報：まくり3枚、紙本墨画淡彩、右図：108.6×44.0cm 中図：109.3×44.0cm 左図：109.3×43.8cm、天保9年（1838）

笠峰こと三木家第7代通深（1824-1857）の筆によるもの。来泊画人・伊孚九（1698-1747以降?）の描いた「離合山水図」（重要文化財、個人蔵）は、伊勢国松坂に伝来し、野呂介石が現地で実見してのち離合山水を描き、青木夙夜も模写を残している。書き入れ等を参照すれば、本図は天保7年（1836）9月に、伊勢国桑名の画家・中村杏斎（号は全篤か）が伊孚九筆「離合山水図」を模したものを、天保9年（1838）5月に通深がさらに模したものと考えられる。通深については、前掲通深筆「山水図」（資料番号352、353（仮番号P15、16））を参照のこと。本図の書き入れ、款記、印章は下記の通り。

右図：墨文描印「莘野」（関防）、墨書「空亭絶壁下煙樹弄晴暉遠／望碧天浄様江一鶴飛／山唐伊孚九寫」、墨文描印「伊海」、墨文描印「孚九」。

墨書「勢人杏斎摸／天保九年戊戌五月笠峰再摸／三枚之一」、白文長方印「堂摸寫之印」。

中図：墨書「密林蔽日青蒙茸兩／都歸煙霧中分明罨畫溪／頭景只欠垂綸一釣翁／山唐伊孚九」。墨書「勢人杏斎摸／笠峰再摸／三枚之一」、白文長方印「堂摸寫之印」。

左図：向かって右より、墨書「天保七年丙申九月摸／三枚之内／全篤」、墨文描印「仲邨全篤摸寫之印」。次に墨書「天保九戊戌歲五月并摸／三枚之一／笠峰甫」、白文長方印「堂摸寫之印」。最後に墨書「山唐伊孚九寫 □□」。

資料番号：359

資料名：「中井蕉園「咏池田炭」」

福崎目録：なし。追加分

書誌情報：1枚 外形寸法：円形紙：直径27.0

中井蕉園の七言律詩「咏池田炭」。詩部分は、56字。末尾に「咏池田炭 仙坡」とあり、「曾

弘」・「伯毅」の二つの落款がある。鳥が描かれた円形の紙に墨書されており、詩文は懷徳堂文庫所蔵「池田炭」軸のものと同じ内容である。

資料番号：360

資料名：「中井及泉書「子有を送る」(仮題)」

福崎目録：なし。追加分

書誌情報：1枚 外形寸法：縦30.1×横24.8cm

中井及泉(桐園)が辛丑仲秋における子有(通深)との別離の様子を漢文体で綴ったもの。

資料番号：361

資料名：「中井曾弘「魚賦」

福崎目録：なし。追加分

書誌情報：1枚 外形寸法：縦30.9×横25.4cm

中井曾弘(蕉園)の魚を題材とした賦。「魚之鮮也、其鱗肅、其髯刺、其眼爛、其尾條暢、～」。寛政2年。

資料番号：362

資料名：「並河寒泉七言詩「韓崎」

福崎目録：なし。追加分

書誌情報：1枚 外形寸法：縦26.8×横21.3cm

並河寒泉の「韓崎」と題する七言詩。

「韓崎夜雨樹方冥沙」

「浦晨霜葉倍青借」

「問千年前子日誰移」

「才緑(?)自春垌」

「萬豆 寒泉」

資料番号：363

資料名：「中井先生拙稿」

福崎目録：なし。追加分

書誌情報：線装1冊 外形寸法：縦25.5×横17.0cm

中井竹山の文章を抄録した書。収録内容な以下の通り。「題山人壁」・「喜涼」・「蛻巖先生挽辭二首」・「芳野懷古」・「次韵俟野博士遊學京師見寄」・「擬送遣唐使二十韵」・「楠中将四百回忌辰恭賦長律以頌遺烈」・「幼女詞」・「長安春望」・「折楊柳」・「銅雀妓」・「雪中樵夫」・「小督怨」・「静妓怨」・「擬夏夜寓直」・「寄豐原子繁」・「寄題浦初島水雲居二首」・「廢寺」・「孤鴈」・「奉壽伯父鳳岡先生七十序」・「左傳比事蹄自敘」。末尾に、「戊寅三月 竹山散人

中井積善識」とある。

資料番号：364

資料名：「辻川 三木慎三郎越智通深識并書」

福崎目録：不明。緑封筒（資料番号364, 365, 366, 367は、エメラルドグリーンクラブの封筒に同梱）

書誌情報：1枚 外形寸法：縦27.5×横20.0cm

「辻川 三木慎三郎越智通深識并書 嘉永四年辛亥五月十九日」記された1枚が残存。

資料番号：365

資料名：「新聞（昭和62年8月19日）のコピー」

福崎目録：不明。緑封筒

書誌情報：1枚 外形寸法：縦29.6×横21.0cm

「城下町ディテール ミニ文化財散歩」の記事。裏面メモ「児島家」。

資料番号：366

資料名：「草稿「お葬式」（仮題）」

福崎目録：不明。緑封筒

書誌情報：1枚 外形寸法：縦29.7×横21.0cm

三木家の葬式に関する草稿か。

資料番号：367

資料名：「床荘傳書」

福崎目録：不明。緑封筒

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦16.7×横8.2cm

書院の装飾や各種棚の設置について図解。天保十年三月。

資料番号：368

資料名：『淡播農商工便覧』

福崎目録：不明書籍

書誌情報：横帖1冊 外形寸法：縦7.7×横16.7cm

上田利平著『淡播農商工便覧』（明治24年刊）。表紙に「番号脱落」と書かれた付箋がつけられている。

資料番号：369

資料名：『布令必用新撰字引』

福崎目録：不明書籍

書誌情報：横帖1冊 外形寸法：縦8.4×横16.7cm

資料番号：370

資料名：「薄茶手前略記」

福崎目録：不明書籍

書誌情報：仮綴1冊 外形寸法：縦23.1×横16.3cm

茶道に関する書。天保七年。三木種之助。

資料番号：371

資料名：「〔覚〕」

福崎目録：該当なし。※新規番号（H9/丁9/11～H9/丁9/15と同梱）

書誌情報：1枚 外形寸法：縦15.8×横21.5cm

東田原9年分42円33銭9厘、10年分52円62銭8厘。（明治10年）

三木家寄託資料調査報告書

懷徳堂研究センター編

平成22年（2010）12月1日

大阪大学懷徳堂研究センター

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/kaitoku-c/>

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5

大阪大学文学研究科



Graduate School of Letters
Center for Kaitokudo Studies